

教科	国語	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
はるが きた	2	◎互いの話に関心をもつことができる。(思・判・表A(1)オ) ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ■絵を見て話したり応答したりする。 ☆学校生活(生活科)	○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア)	○「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもっている。(A(1)オ)	○進んで友達の話に関心を持ち、これまでの経験をいかして話したり応答したりしようとしている。
おはなし ききたいな	2	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ■読み聞かせを聞いて楽しむ。	○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ)	○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ)	○積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの経験をいかして読み聞かせを楽しもうとしている。
なんて いおうかな	2	◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。(知・技(1)キ) ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ■場面に応じた言葉や動作を考えて、伝え合う。 ☆先生や友達などの多くの人と親しみをもって関わって学校生活を楽しくむことや、場に応じた	○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。((1)キ)	○「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ○「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A(1)ウ)	○経験を基に積極的に言うことを考え、学習課題に沿って自分の考えを伝えようとしている。
どうぞ よろしく	3	◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ○経験したことから書くことを見つけ、伝えたい事柄を明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。(知・技(1)キ) ■名前カードを使って友達と交流する。 ☆互いを知り、新しい仲間をつくる題材(生活科) ☆好きなものの絵を描く活動(図画工作)	○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。((1)キ)	○「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ○「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけ、伝えたい事柄を明確にしている。(B(1)ア)	○積極的に自分の名前を書いたり好きなものを考えたりし、これまでの経験をいかして友達と交流しようとしている。
こんな もの みつけたよ	2	◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。(知・技(1)キ) ■見つけたものや思ったことを友達に紹介する。 ☆学校探検(生活科)	○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。((1)キ)	○「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア)	○紹介したい事柄を積極的に選び、学習課題に沿って見つけたものをより分かりやすく紹介しようとしている。
うたに あわせて あいうえお	2	◎姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ) ■音読する。 ■正しい筆順で文字を書く。 ☆歌を通して正しい発声を身につける題材(音楽)	○姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。((1)イ) ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。((3)イ)		○進んで姿勢や口形、発声や発音に注意し、学習課題に沿って音読しようとしている。

こえに だして よもう	1	◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ■詩を音読する。 ■想像を広げながら詩を読む。	○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク)	○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ)	○進んで詩に描かれた様子を想像し、これまでの学習をいかして音読しようとしている。
よく きいて、はなそう	2	◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思・判・表A(1)エ) ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ■応答したり、感想を伝えたりする。	○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。((1)ア)	○「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さを工夫している。(A(1)ウ) ○「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ) 、より伝わる話し方を考えながら、みんなに知らせようとしている。	○興味をもって進んで友達の話を聞き
ことばを さがそう	2	◎音節と文字との関係に気づくことができる。(知・技(1)イ) ○身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ■言葉集めをする。	○音節と文字との関係に気づいている。((1)イ) ○身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1)オ)		○語句の音節と文字との関係を積極的に理解し、これまでの学習をいかして言葉を集めようとしている。
はなの みち	6	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○敬体で書かれた文章に慣れることができる。(知・技(1)キ) ■想像を広げながら物語を読む。 ■物語の音読をする。 ☆動植物や自然に親しむことに関わる題材(道徳) ☆植物の種をまき育てることに関わる題材(生活科)	○敬体で書かれた文章に慣れている。((1)キ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク)	○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ)	○興味をもって進んでお話の内容を捉え、学習課題に沿って友達と協力して音読しようとしている。
としょかんへ いこう	2	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ■学校図書館で好きな本を選んで読書に親しむ。 ☆好きな本を見つけたり、司書の方にきいたりする活動(図書館活用)	○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ)		○積極的に図書館について知ろうとし、学習課題に沿って読みたい本を見つけようとしている。
かきと かぎ	2	◎平仮名を読み、書くことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	○平仮名を読み、書いている。((1)ウ)	○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	○進んで濁音を含む言葉を見つけ、これまでの学習をいかして文字で表そうとしている。
ぶんを つくろう	4	◎文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○句点の打ち方を理解して文の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語との続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ)	○句点の打ち方を理解して文の中で使っている。((1)ウ) ○文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ)	○「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。(B(1)ウ)	○語と語との続き方を丁寧に確かめながら、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
ねこと ねっこ	2	◎促音の表記、助詞の「を」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語との続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■促音や濁音のある言葉を使って文を書く。	○促音の表記、助詞の「を」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている。((1)ウ)	○「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。(B(1)ウ)	○進んで促音や濁音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。

けを はなそう	2 ◎相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ■自分の考えとそのわけを話す。 ☆わけを説明する題材(生活)	○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。((1)ア)	○「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。(A(1)ア) ○「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えていく。(A(1)イ)	○話す事柄の順序を進んで考えながら、これまでの学習や経験をいかして考えとわけを話そうとしている。
おばさんと おばあさん	2 ◎長音の表記、助詞の「へ」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語との続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■長音のある言葉を使って文を書く。	○長音の表記、助詞の「へ」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている。((1)ウ)	○「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。(B(1)ウ)	○進んで長音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
あいうえおで あそぼう	3 ◎平仮名を読み、書くことができる。(知・技(1)ウ) ◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ) ○姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ■言葉遊び歌を楽しむ。	○姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。((1)イ) ○平仮名を読み、書いている。((1)ウ) ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。((3)イ)		○進んで平仮名の五十音を確かめ、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。
つぼみ	8 ◎事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思・判・表C(1)ウ) ■文章を読んで分かったことや考えたことを伝え合う。 ☆動植物や自然に親しむ題材(道徳) ☆図鑑でいろいろな花のつぼみを見つける活動(図書館活用)	○文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク)	○「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ)	○積極的に説明の順序を捉えながら文章を読み、学習課題に沿って分かったことや考えたことを伝えようとしている。
おもちゃと おもちゃ	2 ◎拗音の表記、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語との続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■拗音のある言葉を使って文を書く	○拗音の表記、句点の打ち方を理解して、文の中で使っている。((1)ウ)	○「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。(B(1)ウ)	○進んで拗音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
おおきく なった	4 ◎観察したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使うことができる。(知・技(1)オ) ■観察したことを記録する文を書く。 ☆植物を観察する活動(生活科)	○身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っている。((1)オ)	○「書くこと」において、観察したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。(B(1)ア)	○植物をさまざまな観点から積極的に観察し、これまでの学習をいかして観察したことを記録しようとしている

おおきな かぶ	6 ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ■物語を楽しんで音読したり、劇遊びをしたりする。 ☆人との関わりで協力したり親切にしたりする題材(道徳) ☆練習を撮影した動画をいかし	○文の中における主語と述語との関係に気づいている。(1)カ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク) る。	○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)	○積極的に登場人物の行動を捉え、これまでの学習をいかして音読や劇遊びをしようとしている。
はをへを つかおう	3 ◎助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■助詞「は」「を」「へ」を使って	○助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して文や文章の中で使っている。(1)ウ)	○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	○進んで助詞の使い方を確かめながら、学習課題に沿って文を作ろうとしている。
すきな こと、なかに	7 ◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れることができる。(知・技(1)キ) ○相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ■「好きなこと」を紹介する。	○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。(1)ア) ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。(1)キ)	○「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ○「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(A(1)イ) ○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	○粘り強く伝えたいことや表し方を考え、これまでの学習をいかして自分が好きなものとの理由を紹介しようとしている。
おむすび ころりん	5 ◎昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ■昔話を音読したり演じたりする。 ☆練習を撮影した動画をいかし	○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク) ○昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。(3)ア)	○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ)	○進んで昔話の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読しようとしている。
こんな ことが あったよ	6 ◎経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ) ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ■出来事や経験を報告する文	○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。(1)ア)	○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)オ)	○積極的に出来事や経験を思い出し、これまでの学習をいかして日記に書こうとしている。

としかんと なかよし	2	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ■図書館に行き、好きな本を選んで読書に親しむ。 ☆好きな本を見つけたり、司書の方にきいたりする活動(図書館活用)	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ)		◎積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの学習をいかして本を選ぼうとしている。
こえを あわせて よもう	2	◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ■詩を音読する。 ☆好きな詩を探して読む活動の継続(図書館活用)	○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク)	○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) をいかして音読を楽しもうとしている。	○進んで詩の内容を捉え、これまでの学習
みんなに しらせよう	2	◎伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ○姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思・判・表A(1)エ) ■知らせたい内容を聞き合う。 ☆話の内容を補うために、端末で撮影した写真などを共有(IC活用)	○姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ)	○「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さを工夫している。(A(1)ウ) ○「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ)	○積極的に友達の話聞き、これまでの学習をいかして質問や感想を述べようとしている。
ことばを みつけよう	2	◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ■みんなで言葉遊びをする。	○身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ)		○積極的に言葉遊びに取り組み、これまでの学習をいかして自分でも言葉遊びを作成しようとしている。
やくそく	8	◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ■お話を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。 ☆人との関わりや譲り合い等に関わる題材(道徳)	○文の中における主語と述語との関係に気づいている。(1)カ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク)	○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)	○進んで登場人物の行動を確かめ、学習の見直しをもって声に出してお話を楽しもうとしている。
かたかなを みつけよう	2	◎片仮名を読み、書くとともに、片仮名の長音、拗音、促音、撥音などの表記を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語との続き方に注意しながら、文を書き表すことができる。(思・判・表B(1)ウ) ■身の回りから片仮名で書く言葉を見つけて、読んだり書いたり	○片仮名を読み、書くとともに、片仮名の長音、拗音、促音、撥音などの表記を理解して文や文章の中で使っている。(1)ウ)	○「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら文を書き表している。(B(1)ウ)	○身の回りから片仮名で書く言葉を進んで見つけ、これまでの学習をいかして簡単な文を書こうとしている。
うみの かくれんぼ	8	◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思・判・表C(1)ウ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ■説明する文章を読み、分かったことを伝える。 ☆自然に親しむ題材(道徳) ☆他の生き物の隠れ方を図鑑等で調べる活動(図書館活用)	○文の中における主語と述語との関係に気づいている。(1)カ) ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	○「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ)	○粘り強く文章の中で大事な言葉を押さえながら読み、学習課題に沿って分かったことを伝えようとしている。

かずと かんじ	4	◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書くことができる。(知・技(1)エ) ・語と語との続き方に注意しながら文を書き表すことができる。(思・判・表B(1)ウ) ■数え歌を書く。	◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書いている。((1)エ)	○「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら文を書き表している。(B(1)ウ)	○積極的に数え方に興味をもち、これまでの学習や経験をいかして漢字を使って数え歌を書こうとしている。
くじらぐも	8	◎かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ■読んで想像したことを伝え合	◎かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。((1)ウ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク)	○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)	○積極的に想像力を広げて物語を読み、これまでの学習をいかして想像したことを友達に伝えようとしている。
まちがいを なおそう	2	◎文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正すことができる。(思・判・表B(1)エ) ○助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使っている。(知・技(1)ウ) ■正しい表記で文章を書く。	○助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使っている。((1)ウ)	○「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正している。(B(1)エ)	○進んで文章を見直し、これまでの学習をいかして適切な表記に正そうとしている。
しらせたいな、見せたいな	10	◎経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら書き表すことができる。(思・判・表B(1)ウ) ■見つけたことを記録して伝える。 ☆動植物の観察記録文を書く活動(生活科) ☆知らせたい対象を端末で撮影(ICT活用)	○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。((1)ア) ○助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。((1)ウ)	○「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。(B(1)ア) ○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら書き表している。(B(1)ウ)	○知らせたいものを丁寧に観察し、学習の見通しをもって見つけたことを文章にして伝えようとしている
かん字の はなし	6	◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■漢字を使った短文を書く	◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)	○「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	○積極的に漢字の成り立ちに興味をもち、学習課題に沿って漢字を使った短い文を書こうとしている。
ことばを たのしもう	2	◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさを感じることができる。(知・技(3)イ) ○音節と文字との関係に気づくとともに、発声や発音に注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ■詩や早口言葉を楽しむ。 ☆他にもおもしろい発音の詩や活動(図書読活)	○音節と文字との関係に気づくとともに、発声や発音に注意して話している。((1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさを感じている。((3)イ)		○積極的に詩や早口言葉を楽しみ、これまでの学習や経験をいかして、発声や発音に気をつけながら声に出して読もうとしている。
じどう車くらべ	7	◎事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思・判・表C(1)ウ) ■事物の仕組みを説明した文章を読み、分かったことをまとめる	○事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	○「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ)	○進んで説明における順序を考えながら読み、自分が説明するときにかきたいことを見つけようとしている。

<p>じどう車ずかんをつくろう</p>	<p>5</p> <p>◎事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ■「じどう車しょうかいカード」を書く。 ☆自動車について書かれた図鑑等を選んで読む活動(図書)</p>	<p>○事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p>	<p>○「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B(1)イ)</p>	<p>○分かりやすい説明のしかたについて興味をもち、説明の順序に気をつけながら、見直しをもって自動車図鑑を作ろうとしている。</p>
<p>かたかなを かこう</p>	<p>2</p> <p>◎片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語との続き方に注意しながら、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■片仮名で書く言葉を集め、短文を書く。</p>	<p>○片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。(1)ウ)</p>	<p>○「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>○片仮名の表記のしかたに気をつけながら、これまでの学習をいかして文の中で片仮名を使おうとしている</p>
<p>どんな おはなしが できるかな</p>	<p>6</p> <p>◎互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。(思・判・表A(1)オ) ○文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ) ○句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思・判・表A(1)エ) ■友達と話したことを基にして物語を作る</p>	<p>○句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。(1)ウ) ○文の中における主語と述語との関係に気づいている。(1)カ)</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ) ○「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(A(1)オ) ○「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。(B(1)オ)</p>	<p>○物語を完成させるという見直しをもち、進んで友達に質問し、お話を書こうとしている。</p>
<p>たぬきの 糸車</p>	<p>8</p> <p>◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ■物語の好きなところを見つけ</p>	<p>○文の中における主語と述語との関係に気づいている。(1)カ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク)</p>	<p>○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) ○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ)</p>	<p>○場面の様子に進んで着目し、これまでの学習をいかして、好きなところとそのわけを考えようとしている。</p>
<p>日づけと よう日</p>	<p>3</p> <p>◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■唱歌を作る</p>	<p>○第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ) ○身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ)</p>	<p>○「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>○積極的に日付や曜日を表す漢字に関心をもち、これまでの学習をいかして自分でも唱歌を作ろうとしている。</p>
<p>てがみで しらせよう</p>	<p>6</p> <p>◎丁寧な言葉と普通という言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れることができる。(知・技(1)キ) ○文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすることができる。(思・判・表B(1)エ) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p>	<p>○丁寧な言葉と普通という言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。(1)キ)</p>	<p>○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(B(1)ウ) ○「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。(B(1)エ)</p>	<p>○書いた文章を積極的に見直ししながら、これまでの学習をいかして、身近な人に手紙を書こうとしている。</p>

むかしばなしを よもう おかゆの おなべ	8 ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ■昔話を読み、感想を伝え合う。	○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ)	○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)	○積極的に世界の昔話を読み、これまでの学習をいかして感想をカードに書いて伝えようとしている。
なりきって よもう	2 ◎場面の様子など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ☆お気に入りの詩を見つける活動(図書館活用) ☆工夫した読み方を端末で動画撮影し、友達と交流(ICT活用)	○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク)	○「読むこと」において、場面の様子など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ)	○進んで詩の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読を楽しもうとしている。
くわしく きこう	2 ◎身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思・判・表A(1)エ) ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ■紹介を聞いて、質疑応答する。 ☆紹介したい本を選ぶ活動(図書館活用) ☆話す練習を動画で撮影(ICT)	○身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ)	○「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ○「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ)	○積極的に友達の話を読み、学習の見直しをもって、質問や感想を述べようとしている。
ことばで あそぼう	2 ◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ)	○身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ)	○「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ○「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内	○積極的に友達の話を読み、学習の見直しをもって、質問や感想を述べようとしている。
どうぶつの 赤ちゃん	10 ◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ○読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ■書かれていることを比べて読む。 ☆他の動物の赤ちゃんについて	○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ)	○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ) ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)	○文章の内容を比べながら粘り強く読み、学習の見直しをもって、本から得たことを友達に知らせようとしている。
ものの 名まえ	6 ◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。(知・技(1)オ) ○互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。(思・判・表A(1)オ) ■尋ねたり、応答したりする。	○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づいている。(1)オ)	○「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(A(1)オ)	○積極的に言葉の上位語と下位語に関心をもち、学習の見直しをもって、言葉を集めて「おみせやさんごっこ」をしようとしている。

わらしべちょうじゃ	1	◎昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。(知・技(3)ア) ○文章を読んで感じたことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ■昔話の読み聞かせを聞く。 ☆我が国の文化や生活に親しみ愛着をもたせる題材(道徳)	◎昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。((3)ア)	○「読むこと」において、文章を読んで感じたことを共有している。(C(1)カ)	○積極的に昔話の読み聞かせを楽しみ、これまでの学習をいかして内容や感想を共有しようとしている。
かたかなの かたち	3	◎片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■片仮名の言葉を使って文を書く。	○片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。((1)ウ)	○「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	○進んで形の似ている字を探し、これまでの学習をいかして片仮名の言葉を使った文を書こうとしている。
ことばあそびを つくろう	6	◎身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ) ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	○身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ) ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。((3)イ)	○「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	○身近なことを表す語句に積極的に関心をもち、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しむようとしている。
これは、なんでしょう	4	◎互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。(思・判・表A(1)オ) ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ■二人で相談し、考えをまとめ	○事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	○「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(A(1)ア) ○「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(A(1)オ)	○粘り強く二人で話し合い、学習課題に沿って協力してクイズを作ろうとしている。
ずうっと、ずっと、大すぎだよ	8	◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ■読んで感じたことを伝え合う。 ☆生命を尊重する心を育てる題材(道徳)	○事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ) ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)	○友達への考えや感想を積極的に知ろうとし、学習の見通しをもって、読んで感じたことを伝え合おうとしている。
にて いる かん字	3	◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・語と語との続き方に注意しながら、文を書き表すことができる。(思・判・表B(1)ウ) ■似ている漢字を使って文を書く。	○第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)	○「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、文を書き表している。(B(1)ウ)	○進んで漢字の形に注意し、これまでの学習をいかして楽しみながら文を書こうとしている。
いい こと いっぱい、一年生	10	◎自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ○敬体で書かれた文章に慣れることができる。(知・技(1)キ) ○経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■経験したことを報告する文章を書く。 ☆生活を明るくする態度を育てる題材(道徳) ☆これまでの活動の様子の写真や動画を端末に保存している場合は、それをも参照して話	○敬体で書かれた文章に慣れている。((1)キ) ○「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B(1)イ)		○事柄の順序に沿って構成を粘り強く考えながら、これまでの学習や経験をいかして1年生の思い出を伝える文章を書こうとしている。

令和6年度 国語 評価規準 (第2学年)

単元・教材のねらい、「学習指導要領」に示された「指導事項」「言語活動例」から、あてはまるものを表示。重点指導事項には、◎を付した。

◇話すこと・聞くこと ■書くこと □読むこと △知技 ☆他教科との関連

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標	評価規準
4	6 (書く 4)	ことばと であおう	□■詩を体を動かしながら声に出して読んだり、日記を書いたりすることを楽しみ、国語学習への意欲をもつ。	
4	2	ちいさい おおき い(どんな よみ かたを するか かんがえて、こえ に 出して たの しもう。)	□体を動かしたり、声の大きさを工夫しながら、楽しく読もう。	◎【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 ([知識及び技能](1)ク) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。([思考力、判断力、表現力等]Cエ) 【態度】進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって音読しようとしている。
4	4 (書く 4)	つづけて みよう —日記—	■毎日の生活を振り返り、日記を書く。	◎【知識・技能】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。 ([知識及び技能](1)ウ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。([思考力、判断力、表現力等]Bア) 【態度】積極的に経験したことから書くことを見付け、学習の見通しをもって日記を書くようとしている。
4	3 (話す 聞く 3)	声の ものさしを つかおう	◇いろいろな場面で、話す声の大きさを考えて、気をつけて話すことの大切さに気づく。	◎【知識・技能】音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 ([知識及び技能](1)イ) ◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さを工夫している。 ([思考力、判断力、表現力等]Aウ) 【態度】積極的に声の大きさや速さを工夫し、学習の見通しをもって話そうとしている。
4	13 ～ 5 (話す 聞く 3)	一 どうじょう人 物の した こと に 気 を つけて 読もう 「えいっ」	◇登場人物の様子を思いうかべながら読み、くまの子になったつもりで音読する。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。 ◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さを工夫する。 ◇話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさない	◎【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 ([知識及び技能](1)ク) 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。([思考力、判断力、表現力等]Aエ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。([思考力、判断力、表現力等]Cイ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。([思考力、判断力、表現力等]Cエ) 【態度】進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもつてもしろいところを紹介しようとしている。
5	2 (話す 聞く 2)	ひろい 公園	◇質問を落とさないように聞き、絵から答えを探す。	◎【知識・技能】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 ([知識及び技能](2)ア) ◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。([思考力、判断力、表現力等]Aエ) 【態度】積極的に自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、学習課題に沿って質問に答えようとしている。
5	2	漢字の ひろば ① 画と 書きじゅん	△漢字の画と筆順について理解し、正しく書く。	◎【知識・技能】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。 ([知識及び技能](1)エ) 【態度】積極的に漢字の筆順を理解し、学習の見通しをもって正しい筆順で漢字を書くようとしている。
	2 (書く 2)	一年生で 学んだ 漢字 ①	△絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	◎【知識・技能】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。 ([知識及び技能](1)エ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。([思考力、判断力、表現力等]Bア) 【態度】積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文を書くようとしている。
5	13 (書く 3)	二 じゅんじょに 気 を つけて 読 み、つながりを見 つけよう	□ありとの関わりに気をつけながら、すみれが仲間を増やす仕組みについて説明した文章を読む。	
		すみれと あり	△文の中における主語と述語との関係に気付く。 △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。	◎【知識・技能】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。([知識及び技能](2)ア) 【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Bウ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ([思考力、判断力、表現力等]Cア) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。([思考力、判断力、表現力等]Cウ) 【態度】進んで時間的な順序や事柄の順序などを考え、内容の大体を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。
5	2	「言葉あそび」を しよう	△平仮名四十七文字を全て使った歌のあることを知り、音読する。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒知技(1)ア △音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒知技(1)ク △長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。 ⇒知技(3)イ	◎【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 ([知識及び技能](1)ク) ◎【知識・技能】長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。([知識及び技能](3)イ) 【態度】進んで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付こうとし、学習の見通しをもって音読しようとしている。
6	3	かたかなで 書く 言葉	△片仮名で書く言葉の種類を知り、正しく使い分ける。 △長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)ウ △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ	◎【知識・技能】片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。([知識及び技能](1)ウ) 【態度】積極的に片仮名で書く語の種類を知ろうとし、今までの学習を生かして文を書くようとしている。
6	8 (書く 6)	三 本で しらべて しょうかいしよう	△■図書館で本を探す方法を知り、生き物について調べたことからクイズを作る。	

6	2	図書館で本をさがそう	△図書館に行き、自分が調べたり読んだりしたいテーマの本を探して読む。 △文の中における主語と述語との関係に気付くこと。⇒知技(1)カ △読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。⇒知技(3)エ □文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。⇒思判表C(1)ウ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒思判表C(1)オ □学校図書館などを利用し、図鑑や科学的なことについて書いた本など	◎【知識・技能】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。 (【知識及び技能】(3)エ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 (【思考力、判断力、表現力等】Cウ) 【態度】積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本の探し方を知ろうとしている。
6	6 (書く 6)	「生きものクイズ」を作ろう	■生き物について知りたいことを調べ、クイズを作る。 △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア △読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。⇒知技(3)エ ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表(1)ア ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。⇒思判表B(1)イ ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ ■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。⇒思判表B(1)エ	◎【知識・技能】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(【知識及び技能】(2)ア) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(【思考力、判断力、表現力等】Bア) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(【思考力、判断力、表現力等】Bイ) 【態度】積極的に必要な事柄を集めたり確かめたりし、学習の見通しをもって「生きものクイズ」を作ろうとしている。
6	2	漢字のひろば② なかまの言葉と漢字	△第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)エ △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにする。 ◇身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。	◎【知識・技能】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(【知識及び技能】(1)エ) 【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって漢字の意味のつながりを知ろうとしている。
6	4 (話す 聞く 2)	うれしくなる言葉	△言葉が表す意味と、その言葉にこめられる気持ちについて考え、話し合う。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにする。 ◇身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。	◎【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 (【知識及び技能】(1)ア) ◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Aウ) 【態度】積極的に言葉には事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付こうとし、学習の見通しをもって「うれしくなる言葉」を伝え合おうとしている。
6 ~ 7	15 (書く 3)	四くりかえしに 気をつけて、どう じょう人物の様子 を読もう きつねのおきやく さま	△繰り返し出てくる言葉に気をつけて読み、繰り返しのあるお話を創作する。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 △文の中における主語と述語との関係に気付く。 △話のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読する。	◎【知識・技能】話のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(【知識及び技能】(1)ク) 【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。(【思考力、判断力、表現力等】Bオ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(【思考力、判断力、表現力等】Cエ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 (【思考力、判断力、表現力等】Cオ) 【態度】進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って好きな場面を発表しようとしている。
7	5	いなばのしろうさぎ	△古くから伝わっている話を、興味をもって聞き、場面の様子を想像する。 △昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむ。	◎【知識・技能】昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。 (【知識及び技能】(3)ア) 【態度】進んで昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、今までの学習を生かして昔話や神話・伝承の書かれた本を探して読もうとしている。
7	4 (書く 4)	「かんさつ発見カード」を書こう	■観察して同じところや違うところを見つけ、「かんさつ発見カード」を書く。 △文の中における主語と述語との関係に気付く。 △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。	◎【知識・技能】文の中における主語と述語との関係に気付いている。 (【知識及び技能】(1)カ) ◎【知識・技能】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(【知識及び技能】(2)ア) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 (【思考力、判断力、表現力等】Bイ) 【態度】粘り強く事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、学習の見通しをもって「かんさつ発見カード」を書こうとしている。
7	2	「言葉のなかまさがしゲーム」をしよう	△言葉が体系性をもって存在していることに気づき、上位語・下位語の概念に基づいて、言葉を探したりまとめることができる。 △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ	◎【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。 (【知識及び技能】(1)オ) 【態度】積極的に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付こうとし、学習の見通しをもって言葉を分類しようとしている。
9	5 (話す 聞く 5)	話したいな、聞きたいな、夏休みのこと	△夏休みの思い出を、順序を考えて話す。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 △音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話す。 ◇身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 ◇相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基いて、話す事柄の順序を考える。 ◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫する。 ◇話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように	◎【知識・技能】姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 (【知識及び技能】(1)イ) ◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基いて、話す事柄の順序を考えている。 (【思考力、判断力、表現力等】Aイ) 【態度】進んで相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、今までの学習を生かして夏休みのできごとを紹介しようとしている。

9	2	漢字のひろば ③ 二つの漢字でできている言葉	△二つの漢字でできた言葉の構成について、問題を解きながら確認し、二つの漢字のつながり方を考える。 △第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ	◎【知識・技能】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(【知識及び技能】(1)エ) 【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を書き学習の見通しをもって二つの漢字でできている言葉を読んだり書いたりしようとしている。
	2 (書く 2)	漢字のひろば ③ 一年生で学んだ漢字 ②	△絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 △第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読む。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次	◎【知識・技能】文の中における主語と述語との関係に気付いている。(【知識及び技能】(1)カ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ) 【態度】積極的に文の中における主語と述語の関係に気付こうとし、学習の見通しをもって文や文章を書こうとしている。
9	12 (書く 3)	五 したことや言ったことから、登場人物の考えを読もう わにのおじいさんのたからもの	□登場人物のしたことを思い浮かべながら読み、登場人物に手紙を書く。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。	◎【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(【知識及び技能】(1)ア) 【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(【思考力、判断力、表現力等】Cエ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(【思考力、判断力、表現力等】Cオ) 【態度】進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って登場人物に手紙を書こうとしている。
9	2	はんたいのいみの言葉、たいいみの言葉	△対義語や類義語があることを知り、身近な言葉から対義語や類義語を集めることができる。 △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにすること。⇒◎知技(1)オ △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア	◎【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにしている。(【知識及び技能】(1)オ) 【態度】積極的に言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付こうとし、学習の見通しをもって言葉を分類しようとしている。
9 ～ 10	11 (書く 11)	六 まとまりを考えて書こう	■「はじめ」「中」「おわり」のまとまりを考えて、町探検報告文を書く。	
		町の「すてき」をつたえます	△長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使う。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使う。	【知識・技能】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。(【知識及び技能】(1)ウ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えよう。(【思考力、判断力、表現力等】Bイ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文の続き方を確かめたりしている。(【思考力、判断力、表現力等】Bエ) 【態度】積極的に事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、今までの学習を生かして報告する文章を書こうとしている。
10	2 (書く 1)	七 しゃんをくらべて、考えよう	□1枚めの写真から視点を定めて、2枚めの写真になつた際、何かが起きたことを想像する。	◎【知識・技能】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(【知識及び技能】(2)ア) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えよう。(【思考力、判断力、表現力等】Bイ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(【思考力、判断力、表現力等】Cア) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(【思考力、判断力、表現力等】Cオ) 【態度】積極的に共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解し、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。
		この間に何があった？	△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにする。 △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。	
#	11 (話す 聞く3)	一 じゅんじよや様子を気をつけて読もう	□さけの成長について、季節や場所、さけの様子に移り変わりを考えながら、内容の大体を読む。	
		さげが大きくなるまで	△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 △文の中における主語と述語との関係に気付く。 △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。 ◇相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基ついて、話す事柄の順序を考える。	◎【知識・技能】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(【知識及び技能】(2)ア) 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基ついて、話す事柄の順序を考えている。(【思考力、判断力、表現力等】Aイ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(【思考力、判断力、表現力等】Cウ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(【思考力、判断力、表現力等】Cオ) 【態度】積極的に文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、学習課題に沿ってさげが大きくなる様子を説明しようとしている。
10 ～ 11	10 (書く 10)	二 様子をよく見て、くわしく書こう	■見つけた物の様子をよく見て、様子が伝わるように詳しく書く。	
		おもしろいもの、見つけたよ	△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにする。 △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。	◎【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにしている。(【知識及び技能】(1)オ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。(【思考力、判断力、表現力等】Bオ) 【態度】進んで文章に対する感想を伝え合い、学習の見通しをもって記録する文章を書こうとしている。

2	しを読もう てんとうむし 木	<p>○イメージの自由な広がりをおして、詩を楽しむ。 △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにする。⇒◎知技(1)オ □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。⇒◎思判表C(1)エ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒思判表C(1)カ □読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。⇒思判表C(2)イ</p>	<p>◎【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。(【知識及び技能】(1)オ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(【思考力、判断力、表現力等】Cエ) 【態度】進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって感想を発表しようとしている。</p>
#	12 三 だれが、どのようにかわったかを考えて読もう ないた赤おに 「お話びじゅつかん」を作ろう	<p>□△登場人物のしたことや言ったこと、場面の様子を読み、読書の世界を広げる。 □登場人物の気持ちの移り変わりを考えながら、『ないた赤おに』を読み、心に残ったことを話し合う。 △自分の読んだ本の中でいちばん心に残ったところを絵に描いて紹介する。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 △読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。</p>	<p>◎【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(【知識及び技能】(1)ク) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(【思考力、判断力、表現力等】Cエ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(【思考力、判断力、表現力等】Cオ) 【態度】進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って心に残ったところを文章にまとめようとしている。 ◎【知識・技能】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(【知識及び技能】(3)エ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(【思考力、判断力、表現力等】Cオ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(【思考力、判断力、表現力等】Cカ) 【態度】積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本を紹介しようとしている。</p>
#	8 (話す聞く) 四 しつもんしたり答えたりして、話し合おう 「クラスお楽しみ会」をひらこう	<p>◇話し合いでクラスで行う遊びを決め、「クラスお楽しみ会」を開く。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。 ◇身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 ◇相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基いて、話す事柄の順序を考える。 ◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫する。 ◇話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ。 ◇互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐ。 ◇尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う。</p>	<p>◎【知識・技能】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(【知識及び技能】(2)ア) ◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(【思考力、判断力、表現力等】Aオ) 【態度】積極的に互いの話に関心をもち、今までの学習を生かして少人数で話し合おうとしている。</p>
#	5 (書く) みじかい言葉で	<p>■心が動いたことを短い言葉で書く。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにする。</p>	<p>◎【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(【知識及び技能】(1)ア) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ) 【態度】積極的に語と語や文と文との続き方に注意しながら、学習の見通しをもって心が動いたことを短い言葉で書こうとしている。</p>
#	2 漢字の広場 ④ 漢字のつかい方と読み方	<p>△漢字の使い方や読み方、意味などを考えて漢字を正しく使う。 △第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読む。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。</p>	<p>◎【知識・技能】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(【知識及び技能】(1)エ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ) 【態度】積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文や文章を書こうとしている。</p>
#	2 (書く) 漢字の広場 ④ 一年生で学んだ漢字 ③	<p>△絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 △第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読む。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。 △文の中における主語と述語との関係に気付く。</p>	
#	19 (書く) 五 わかりやすくせつめいするための、くふうをたしかめよう 「しかけ絵本」を作ろう	<p>□■説明の順序を正しく捉えながら読み、おもちゃの作り方を説明する。 □説明の順序に気をつけながら、「しかけ絵本」の仕組みや作り方を書いた文章を読む。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 もつこと。⇒思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒思判表C(1)カ</p>	<p>【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(【知識及び技能】(1)ア) 【思考・判断・表現】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(【思考力、判断力、表現力等】Bイ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(【思考力、判断力、表現力等】Cア) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(【思考力、判断力、表現力等】Cウ) 【態度】進んで時間的な順序や事柄の順序などを考え、学習課題に沿って「しかけ絵本」を作ろうとしている。</p>
#	おもちゃのせつめい書を書く	<p>■おもちゃの作り方や遊び方の順序を考えて、説明書を書く。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。</p>	<p>◎【知識・技能】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(【知識及び技能】(2)ア) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。(【思考力、判断力、表現力等】Bエ) 【態度】粘り強く語と語や文と文との続き方に注意し、学習の見通しをもって説明する文章を書こうとしている。</p>

1	2	しを読もう せかいじゅうの海が	<p>□イメージの自由な広がりをおして、詩を楽しむ。 △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 ⇒◎知技(1)オ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒知技(1)ク □場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)イ □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒思判表C(1)エ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒◎思判表C(1)カ □読み聞かせを聞いたり物語などを讀んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ</p>	<p>◎【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。(【知識及び技能】(1)オ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(【思考力、判断力、表現力等】Cカ) 【態度】積極的に文章を読んで感じたことや分かったことを共有し、学習の見通しをもって想像したことを発表しようとしている。</p>
1	11 (話す 聞く 3)	六 場面や人物の様子をくわしく読もう かさこじぞう	<p>□様子を詳しく読んで、読み方を工夫して音読発表会を開く。 △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。 △昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむ。 ◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫する。 ◇話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ。 ◇紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする。 □読み聞かせを聞いたり物語などを讀んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする。</p>	<p>◎【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(【知識及び技能】(1)ク) 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Aウ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(【思考力、判断力、表現力等】Cエ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(【思考力、判断力、表現力等】Cカ) 【態度】進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見通しをもって音読発表会をしようとしている。</p>
1	3	むかしのあそび	<p>△日本に古くから伝承されている昔遊び(正月遊び)を知り、実際に遊ぶことを通じてその魅力を知る。 △昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。 ⇒知技(3)ア △長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。 ⇒◎知技(3)イ</p>	<p>◎【知識・技能】長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。(【知識及び技能】(3)イ) 【態度】進んで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付き、学習の見通しをもってかるたを楽しもうとしている。</p>
1	4 (話す 聞く 4)	むかしのあそびをせつめいしよう	<p>◇昔の遊びについて、遊び方を調べて説明する。 △音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ ◇身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 ⇒思判表A(1)ア ◇相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。 ⇒◎思判表A(1)イ ◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 ⇒思判表A(1)ウ ◇話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 ⇒思判表A(1)エ ◇紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 ⇒思判表A(2)ア</p>	<p>◎【知識・技能】姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(【知識及び技能】(1)イ) ◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(【思考力、判断力、表現力等】Aイ) 【態度】進んで相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、今までの学習を生かして昔の遊びの遊び方を説明しようとしている。</p>
2	3	主語とじゅつ語	<p>△文を読んで、主語と述語の対応を考え、正しく使うことができる。 △文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 ⇒◎知技(1)カ △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア</p>	<p>◎【知識・技能】文の中における主語と述語との関係に気付いている。(【知識及び技能】(1)カ) 【態度】積極的に文の中における主語と述語との関係に気付き、学習の見通しをもって文を読んだり書いたりしようとしている。</p>
2	2	漢字の広場⑤ 同じ読み方の漢字	<p>△同じ読み方の漢字を集め、漢字を正しく使う。 △第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読む。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ</p>	<p>◎【知識・技能】当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。(【知識及び技能】(1)エ) 【態度】積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって同じ読み方の漢字を正しく使おうとしている。</p>
2	13 (書く 13)	七 じゅんじょに 気をつけて書こう こんなことができるようになったよ	<p>■したことや身のまわりのできごとの中から書くことを見つけ、思い出して、順序を考えて書く。 △長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使う。 △丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れる。</p>	<p>◎【知識・技能】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。(【知識及び技能】(1)ウ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。(【思考力、判断力、表現力等】Bエ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。(【思考力、判断力、表現力等】Bオ) 【態度】積極的に、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりし、学習の見通しをもって文章を書こうとしている。</p>
2	3	音や様子をあらわす言葉	<p>△擬声語や擬態語のはたらきなどを理解し、文の中で使うことができる。 △長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)ウ △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 ⇒◎知技(1)オ</p>	<p>◎【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っていると、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。(【知識及び技能】(1)オ) 【態度】積極的に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、学習の見通しをもって文の中で使おうとしている。</p>
2	2	漢字の広場⑥ 組み合わせでできている漢字	<p>△同じ部分をもつ漢字を集め、漢字を正しく使う。 △第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読む。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。 △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。</p>	<p>◎【知識・技能】当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。(【知識及び技能】(1)エ) 【態度】積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって同じ部分をもつ漢字を正しく使おうとしている。</p>
2	(書く 2)	漢字の広場⑥ 一年生で学んだ漢字④	<p>△絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 △第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読む。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。 △文の中における主語と述語との関係に気付く。</p>	<p>◎【知識・技能】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(【知識及び技能】(1)エ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ) 【態度】積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文を書こうとしている。</p>

2 3	16 〜 3 (書 く4)	八 場面の様子や 登場人物の行動に 気をつけて読もう アレクサンダとゼ ンまいねずみ	□お話の順序に気をつけて読み、あらすじをまとめて紹介する。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。	◎【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ア) 【思考・判断・表現】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ) ◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ) 【態度】進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもち、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。
3	2 (話 す聞 く1, 書く 1)	国語の学習 これ まで これから	◇■一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、楽しみながら学習できるようにする。 ◇身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 ◇話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ。	◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Aエ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bア) 【態度】進んで経験したことから書くことを見付け、今までの学習を生かして思い出したことや三年生でどんな学習をしたかかを共有しようとしている。

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
よく聞いて、じこしようかい	1	○相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ○話し手が伝えたいことの中心を捉えることができる。(思・判・表A(1)エ) ■自己紹介をする。 ☆楽しい学級づくり(特別活動)	・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(1)イ)	・「話すこと・聞くこと」において、話し手が伝えたいことの中心を捉えている。(A(1)エ)	・積極的に相手を見て話したり聞いたりし、学習課題に沿って自己紹介をしようとしている。
どきん	1	◎文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク) ○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ■詩を楽しんで音読する。	・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク)	・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ)	・積極的に文章全体の構成や内容の大体を意識し、学習課題に沿って楽しんで詩を音読しようとしている。
わたしのさいごうの一日つづけてみよう	1	○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ・様子や行動、気持ちや性格を	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っている。(1)オ)	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	・経験したことや想像したことなどから書くことを進んで選び、学習課題に沿って日記を書こうとしている。
春風をたどって	8	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ)	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ) ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク)	・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C(1)イ)	・進んで、登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、学習課題に沿って想像したことを伝え合おうとしている。
図書館たんていだん	1	◎読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ■図書館の地図を作り、本を探す。 ☆図書館の配架を知る活動(図書館活用)	・読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ)		・読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことを積極的に知り、学習課題に沿って学校図書館の工夫について調べようとしている。
国語辞典を使おう	2	◎辞書の使い方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ☆考えをまとめる活動などの漢字の確かめ(総合的な学習の時間など)	・辞書の使い方を理解し使っている。(2)イ)		・進んで辞書の使い方を理解し、学習課題に沿って国語辞典を使おうとしている。
漢字の広場①	2	◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)	・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	・積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
春のくらし	2	◎語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■春を感じたことについて、文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳) ☆春を感じたものの撮影(ICT活用)	・語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ)	・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	・積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。

もっと知りたい、友だちのこと【コラム】きちんとつたえるために	6	◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ◎必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。(思・判・表A(1)エ) ○目的を意識して、日常生活の	・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(1)イ)	・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。	・粘り強く話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって話したり、質問したりしようとしている。
漢字の音と訓	2	◎第3学年までに配当されている漢字を読むことができる。(知・技(1)エ)	第3学年までに配当されている漢字を読んでいる。(1)エ)		進んで第3学年までに配当されている漢字を読み、学習課題に沿ってよりよく漢字を学ぼうとしている。
漢字の広場②	2	◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○接続する語句の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ) ・接続する語句の役割について理解している。(1)カ)	・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	・積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして漢字を適切に使った文を作ろうとしている。(B(1)エ)
文様こまを楽しむ	8	◎全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ○段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ○目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。(思・判・表C(1)ウ) ■説明する文章を読み、感想を伝え合う。 ☆伝統や文化を知り、歴史を愛する題材(道徳)	・段落の役割について理解している。(1)カ) ・全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。(C(1)ウ)	・進んで段落相互の関係に着目しながら内容を捉え、学習課題に沿って説明する文章を読んだ感想を伝え合おうとしている。
気持ちをこめて、「来てください」	4	◎丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。(知・技(1)キ) ◎間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ■行事を案内する手紙を書く。 ☆時と場に応じた適切な手紙を	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。(1)ア) ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。(1)キ)	・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	・粘り強く、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整え、学習の見通しをもって行事を案内する手紙を書こうとしている。
漢字の広場③	2	◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)	・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	・積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
まいごのかぎ	6	◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ)	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ)	・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ)	・登場人物の気持ちの変化について、進んで場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って物語の好きな場面について話し合おうとしている。
俳句を楽しもう	1	◎易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ■俳句を音読する。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳) ☆五音と七音を組み合わせた詩などを採る活動(図書館活用)	・易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア)		・進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って俳句を音読しようとしている。

こそあど言葉を使いこなそう	2	◎指示する語句の役割について理解することができる。(知・技(1)カ)	・指示する語句の役割について理解している。((1)カ)	・積極的に指示する語句の役割について理解し、学習課題に沿って使おうとしている。
【じょうほう】引用するとき	3	◎引用のしかたや出典の示し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■本などから調べたことを書き留め、引用して文章を書く。 ☆調べたことを文章にまとめる活動(社会など)	・引用のしかたや出典の示し方を理解し使っている。((2)イ)	・書くことにおいて、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)
仕事のくふう、見つけたよ【コラム】符号など	10	◎相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つことができる。(知・技(1)ウ) ○段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■調べたことを報告する文章を書く。 ☆調べたいことを決めて、調査を行い、報告する文章にまとめる活動(社会、総合的な学習の時間) ☆調べる仕事についての本を探る活動(図書館活用) ☆見つけた工夫の撮影(ICT活	・改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。((1)ウ) ・段落の役割について理解している。((1)カ)	・「書くこと」において、相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)
夏のくらし	2	◎語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■夏を感じたことについて文章	・語句の量を増し、文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。((1)オ)	・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)
本で知ったことをクイズにしよう鳥になつたきょうりゅうの話	5	◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ■図鑑や科学読み物を読んで、クイズを出し合う。 ☆本を選んで読む活動(図書館活用)	・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。((3)オ)	・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ)
わたしと小鳥とずっと夕日がせなかをおしてくる	2	○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ■詩を読んで、思ったことや感じたことを話し合う。	・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。((1)ク)	・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ)
こんな係がクラスにほしい	3	◎考えとそれを支える理由や事例について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ) ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりすること	・考えとそれを支える理由や事例について理解している。((2)ア)	・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりしている。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A(1)オ)

ポスターを読もう	2	◎文章を読んで理解したことに基 _づ いて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ○比較や分類のしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ○目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。(思・判・表C(1)ウ)	・比較や分類のしかたを理解し使っている。(2)イ)	・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基 _づ いて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)	・文章を読んで理解したことに基 _づ いて、進んで感想や考えをもち、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
書くことを考えるときは	2	◎比較や分類のしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。	・比較や分類のしかたを理解し使っている。(2)イ)	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	・粘り強く集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にし、学習課題に沿って夏休みの思い出を書こうとしている。
漢字の組み立て	3	◎漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解することができる。(知・技(3)ウ)	・漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。(3)ウ)		・漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて粘り強く理解し、学習課題に沿って漢字の構成を捉えようとしている。
ローマ字	4	◎日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くことができる。(知・技(1)ウ) ☆ローマ字入力(ICT活用)	・日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(1)ウ)		・進んでローマ字で表記されたものを読み、学習課題に沿ってローマ字で書いたり入力したりしようとしている。
ちいちゃんのかげおくり	10	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎文章を読んで理解したことに基 _づ いて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ○登場人物の気持ちの変化や性格・情景について、場面の変化	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ)	・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基 _づ いて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)	・文章を読んで理解したことに基 _づ いて、進んで感想や考えをもち、学習課題に沿って物語を読んだ感想をまとめようとしている。
修飾語を使って書こう	2	◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解することができる。(知・技(1)カ) ○言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。(知・技(1)オ)	・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。(1)オ) ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解している。(1)カ)		・粘り強く修飾と被修飾との関係について理解し、学習課題に沿って修飾語を使って文を書こうとしている。
秋のくらし	2	◎語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。	・語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ)	・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	・積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。
おすすめのさつを決めよう	8	◎比較や分類のしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ) ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ■グループで役割を決めて話し	・比較や分類のしかたを理解し使っている。(2)イ)	・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A(1)オ)	・粘り強く司会などの役割を果たしながら話し合い、学習の見通しをもって考えをまとめようとしている。
すがたをかえる大豆 食べ物のひみつを教えます	12	◎比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考慮することができる。(思・判・表B(1)イ) ◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。(思・判・表C(1)ウ)	・比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使っている。(2)イ) ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ)	・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ) ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。(C(1)ウ)	・目的を意識して、粘り強く中心となる語や文を見つかり、それらを明確にして文章の構成を考えたりし、学習の見通しをもって筆者の説明の工夫をいかした文章を書こうとしている。
ことわざ・故事成語	4	◎長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うことができる。(知・技(3)イ) ○目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表C(1)ウ)	・長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。(3)イ)	・「書くこと」において、目的を意識して、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	・積極的にことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使い、学習課題に沿ってことわざ辞典を作ろうとしている。
漢字の意味	2	◎漢字と仮名を用いた表記を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)	・漢字と仮名を用いた表記を理解して文や文章の中で使っている。(1)ウ)		・積極的に漢字と仮名を用いた表記を理解し、これまでの学習をいかして文や文章の中で使おうとしている。
短歌を楽しもう	1	◎易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)	・易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア)		・進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って短歌を音読したり暗唱したりしようとしている。

漢字の広場④	2	◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ	・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	・積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
三年とうげ	6	◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○引用のしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ■民話や昔話を紹介する。 ☆世界の文化に対する興味・関心を促し、その理解を図る題材(道徳、総合的な学習の時間) ☆民話や昔話を探す活動(図書館活用)	・引用のしかたを理解し使っている。(2)イ) ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ)	・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)	・登場人物の行動や気持ちなどについて、積極的に叙述を基に捉え、学習課題に沿って民話や昔話を紹介しようとしている。
わたしの町のよいところ	10	◎書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ) ○考えとそれを支える理由について理解することができる。(知・技(2)ア)	・考えとそれを支える理由について理解している。(2)ア)	・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)オ)	・積極的に文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけ、学習課題に沿って町のよさを紹介する文章を書こうとしている。
冬のくらし	3	◎語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。	・語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。(1)オ)	・経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	・積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。
詩のくふうを楽しもう	4	○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク) ○文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ) ○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと	・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク)	・「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)	・進んで文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読して、学習課題に沿って詩を創作しようとしている。
四まいの絵を使って	2	◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考慮することができる。(思・判・表B(1)イ) ○段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ)	・段落の役割について理解している。(1)カ)	・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ)	・書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えることに粘り強く取り組み、学習課題に沿って物語の流れを書こうとしている。
カンジーはかせの音訓かるた	2	◎第3学年までに配当されている漢字を読むことができる。また、第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第3学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)	・第3学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第3学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)		・進んで第3学年までに配当されている漢字を読み、学習課題に沿って漢字の音訓を使った文を書こうとしている。
漢字の広場⑤	2	◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を	・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)	・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	・積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
ありの行列	7	◎指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の	・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。(1)カ) ・指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(1)カ)	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ)	・進んで文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えもち、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。

つたわる言葉で表そう	8 ◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■相手に伝わる文章を書く。 ☆体験したことを報告する文章にまとめる活動(社会、総合的な学習の時間)	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。(1)ア) ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。(1)オ)	・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	・言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに積極的に気づき、学習の見直しをもって相手に伝わる文章を書くようとしている。
たから島のぼうけん	8 ◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■物語を創作する。	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ)	「書くこと」において、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	進んで様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにし、学習の見直しをもって物語を創作しようとしている。
お気に入りの場所、教えます	8 ◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ◎相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考慮することができる。(思・判・表A(1)イ) ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心などの情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ■お気に入りの場所を発表する。 ☆発表に適切な写真の撮影(ICT活用) ☆発表の練習を撮影し見返すこと	相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(1)イ) ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心などの情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。(A(1)ウ)	進んで話の中心が明確になるように話の構成を考え、学習課題に沿ってお気に入りの場所を発表しようとしている。
モチモチの木	12 ◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ)	「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ)	登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に粘り強く想像し、学習課題に沿って考えたことをまとめ、伝え合おうとしている。
漢字の広場⑥	2 ◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○修飾と被修飾との関係について理解することができる。(知・技(1)カ) ・間違いを正したり、相手や目的	第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ) ・修飾と被修飾との関係について理解している。(1)カ)	間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
三年生をふり返って	1 ◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。(1)ア)	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	進んで経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にし、学習課題に沿って1年間の振り返りを書くようとしている。

令和6年度 国語 評価規準 (第4学年)

単元・教材のねらいと、「学習指導要領」に示された「指導事項」「言語活動例」から、あてはまるものを表示。重点指導事項には、◎を付した。
 △知識・技能 思考・判断・表現(○話すこと・聞くこと ■書くこと □読むこと ☆他教科との関連)

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 (学習事項(1)・言語活動例(2))	評価規準
4	—	四年生で学ぶこと		
4	4 (話す聞く2)	言葉に親しもう		
4	2 (話す聞く2)	わたしは、だあれ	◇自分の知りたいことを明確にして、質問をする。 △言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付く。 △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話す。 ◇目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 ◇相手と伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考える。 ◇話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫する。 ◇必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつ。	◎【 知技 】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(【知識及び技能】(1)ア) ◎【 思判表 】「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつ。(【思考力、判断力、表現力等】Aエ) 【 態度 】積極的に必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、学習の見直しをもって、自分のカードに書いてある名前をあてようとしている。
	2	春のうた	□◇声に出して読んだり、共通点や相違点に気をつけて話したり聞いたりすることを楽しみ、国語学習への意欲をもつ。 □言葉の響きに気をつけながら、工夫して音読する。 △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。⇒ 知技 (1)イ △文章全体の内容や構成の大体を意識しながら音読すること。⇒ 知技 (1)ク △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。⇒ 知技 (3)オ □場面の移り変わりや登場人物の行動、気持ちの変化などについて、叙述を基に捉えること。⇒ 思判表 C(1)イ □登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。⇒ 思判表 C(1)エ □詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。⇒ 思判表 C(2)イ	◎【 知技 】文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(【知識及び技能】(1)ク) ◎【 思判表 】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(【思考力、判断力、表現力等】Cエ) 【 態度 】進んで、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について具体的に想像し、学習の見直しをもって音読したりイメージを広げたりしようとしている。
	あり			
4	10 (書く3)	一場面の様子や、登場人物の気持ちを想像しながら読もう	□松井さんの行動や気持ちを考えながら読み、松井さんになって、「この日」のできごとを日記に書く。	
		白いぼうし	△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使ったときに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにする。 △文章全体の内容や構成の大体を意識しながら音読する。 △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解する。 △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付く。	◎【 知技 】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(【知識及び技能】(1)オ) 【 思判表 】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ) ◎【 思判表 】「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(【思考力、判断力、表現力等】Cイ) ◎【 思判表 】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(【思考力、判断力、表現力等】Cエ) 【 態度 】進んで登場人物の気持ちや性格、情景について具体的に想像し、今までの学習を生かして、登場人物になったつもりで日記を書くようとしている。
4	4 (書く4)	びったりの言葉、見つけよう	■心が動いたできごとを、短い文章で表現する。 △言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付く。 △漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書く。 △様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使ったときに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。⇒ 知技 (1)。 ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。⇒ 思判表 B(1)ア ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒ 思判表 B(1)ウ ■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。⇒ 思判表 B(2)ウ	◎【 知技 】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(【知識及び技能】(1)ア) ◎【 知技 】漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに、句読点を適切に打っている。(【知識及び技能】(1)ウ) ◎【 思判表 】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(【思考力、判断力、表現力等】Bア) 【 態度 】進んで経験したことや想像したことなどから書くことを選び、学習の見直しをもって、心が動いたできごとを短い文章で表現しようとしている。
5	2	漢字の広場 ① 漢字の部首	△漢字の部首について知り、漢字を覚えたり使ったりするときに役立てる。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読む。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。 △漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解する。	◎【 知技 】漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。(【知識及び技能】(3)ウ) 【 態度 】進んで、漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し、学習の見直しをもって、漢字を覚えたり使ったりするときに役立てようとしている。
	2 (書く2)	漢字の広場 ① 三年生で学んだ漢字 ①	△絵を見て想像したことをもとに、3年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読む。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。 △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書く。	◎【 知技 】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(【知識及び技能】(1)エ) 【 思判表 】「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(【思考力、判断力、表現力等】Bオ) 【 態度 】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書くようとしている。
5	16 (書く3)	二 けっかとけつろんのつながりをとらえよう		
5	2	ぞうの重さを量る	□象の重さを量るという問題をつかむ過程や解決する過程の考えの筋道を、叙述をおさながら読む。 △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解する。 △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解する。 △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使う。	◎【 知技 】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(【知識及び技能】(1)カ) ◎【 知技 】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(【知識及び技能】(2)ア) ◎【 思判表 】「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。(【思考力、判断力、表現力等】Cア) 【 態度 】粘り強く、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉え、学習の見直しをもって、考える筋道をつかもうとしている。

5 ～ 6	10 (書 く3)	花を見つける手がかり ○「もしんらちうは何を手がかりに花を見つけるか」という問題を解明していく一つ一つの実験の結果とそこから引き出される結論、実験を繰り返していく考えの筋道などを、叙述をおさながら読む。 △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解する。 △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解する。 △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使う。 △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付く。 □段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。⇒◎思判表C(1)ア □目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。 ⇒◎思判表C(1)ウ □文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。 ⇒思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。⇒思判表C(1)カ ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア □記録や報告などの文章を読み、分かったことや考えたことを、本文を引用しながら説明したり意見を述べたりする活動。⇒思判表C(2)ア	◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 （〔知識及び技能〕(1)カ） ◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。（〔知識及び技能〕(2)ア） ◎【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） ◎【思判表】「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cア） ◎【思判表】「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ） 【態度】粘り強く、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉え、学習の見通しをもって、結果と結論のつながりを捉えようとしている。
6	4	分類をもとに本を見つけよう △地域の図書館へ行き、「日本十進分類法」を利用して本を探して読んで、図書館の分類の仕方を確かめたりする。 △「日本十進分類法」のしくみを知り、本を探すときに役立てる。 △「日本十進分類法」のしくみを知り、分類記号を手がかりに本を探して読む。 △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。 ⇒◎知技(2)イ △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。⇒◎知技(3)オ □目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。 ⇒◎思判表C(1)ウ □文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。 ⇒思判表C(1)オ □記録や報告などの文章を読み、分かったことや考えたことを、本文を引用しながら説明したり意見を述べたりする活動。 ⇒思判表C(2)ア □学校図書館などを利用して、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。⇒思判表C(2)ウ ☆社会、理科、総合：調べ学習で本を探す	◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。（〔知識及び技能〕(2)ア） ◎【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。（〔知識及び技能〕(2)イ） ◎【知技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。（〔知識及び技能〕(3)オ） ◎【思判表】「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ） 【態度】進んで比較や分類の仕方を理解し、学習の見通しをもって、分類記号を手がかりに本を探して読もうとしている。
6	3 (話 す聞 く3)	メモの取り方をくふうして聞こう ◇相手の話の大切なことを落とさないように、工夫してメモを取りながら話を聞く。 ◇相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。⇒知技(1)イ △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒知技(1)カ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。⇒知技(1)キ △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。 ⇒◎知技(2)イ ◇目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 ⇒思判表A(1)ア ◇相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。⇒思判表A(1)イ ◇必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを持つこと。 ⇒◎思判表A(1)エ ◇説明や報告など調べたことを話したり、それらを聞いたりする活動。 ⇒思判表A(2)ア	◎【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。（〔知識及び技能〕(2)イ） ◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aエ） 【態度】進んで必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって、大切なことを落とさないように聞こうとしている。
6	2	漢字辞典の引き方 △漢字辞典の引き方を理解し、活用する。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読む。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。 △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使う。 △漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解する。	◎【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。（〔知識及び技能〕(2)イ） 【態度】積極的に辞書や事典の使い方を理解し、学習の見通しをもって漢字辞典を活用しようとしている。
6	10 (書 く 10)	三 伝わりやすい 組み立てを考 えて書こう リーフレットで 知らせよう ■リーフレットの特徴を生かした組み立てを考え、見学したことや調べたことを報告する。 △漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つ。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書く。 △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解する。 △丁寧な言葉を使い、敬体と常体との違いに注意しながら書く。 △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解する。 △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使う。 ■書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 ⇒◎思判表B(1)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ ■間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えること。⇒◎思判表B(1)エ ■書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)オ ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア ☆社会科：社会科見学の関連を図ることができる。	◎【知技】漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに、句読点を適切に打っている。（〔知識及び技能〕(1)ウ） ◎【思判表】「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ） ◎【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） ◎【思判表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bエ） 【態度】積極的に、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考え、学習の見通しをもってリーフレットの組み立てを考えようとしている。

6 ～ 7	4 (書 く1)	短歌の世界	△短歌を声に出して読み、言葉のリズムにふれる。 △易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。 ⇒◎知技(3)ア △幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 ⇒知技(3)オ	◎【知技】易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(【知識及び技能】(3)ア) 【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ) 【態度】進んで易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどし、学習の見通しをもって、言葉のリズムを楽しんだり様子や気持ちを想像したりしようとしている。
7	2	漢字の広場 ② 漢字の音を表す部分	△形声文字における部首と音符について知り、漢字を覚えたり使ったりするときに役立てる。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読む。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。 △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使う。 △漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解する。	◎【知技】漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。(【知識及び技能】(3)ウ) 【態度】進んで漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し、学習課題に沿って、「音を表す部分」を漢字を覚えたり使ったりすることに役立てようとしている。
	2 (書く 2)	漢字の広場 ② 三年生で学んだ漢字 ②	△絵を見て想像したことをもとに、3年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読む。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。 △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書く。	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(【知識及び技能】(1)エ) 【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ) 【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
7	10 (話す 聞く 2)	四 登場人物のせい かくや、気持ちを想像して読もう ぞろぞろ(落語)	□場面や人物の様子を想像しながら、落語を音読したり、演じたりする。 △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話す。 △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解する。 △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解する。 △幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付く。 ◇話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫する。	◎【知技】相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(【知識及び技能】(1)イ) 【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Aウ) ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(【思考力、判断力、表現力等】Cイ) ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。(【思考力、判断力、表現力等】Cエ) 【態度】進んで登場人物の気持ちの変化や性格、情景について具体的に想像し、学習の見通しをもって、落語を音読したり演じたりしようとしている。
9	1 (話す 聞く 1)	「夏の思い出」記者 になるろう	◇話し手がどんなことを伝えたいのかを考えながら、質問をする。 △言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付く。 △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話す。 △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書く。 ◇目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 ◇相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考える。 ◇話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。 ⇒思判表A(1)ウ ◇必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを持つこと。 ⇒◎思判表A(1)エ ◇質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動。 ⇒思判表A(2)イ	◎【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(【知識及び技能】(1)ア) ◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもって、相手の話を引き出す質問をしようとしている。 【態度】積極的に必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって、相手の話を引き出す質問をしようとしている。
9	11 (話す 聞く 6、書 く5)	五 写真などの図の よさを知り、活用し よう	◇写真は撮り方によって見る人に与える感じが異なることに気づき、写真や図を効果的に用いて表現する。	
9	6 (話す 聞く 6)	写真をもとに話そう	◇伝えたいことをはっきりさせて、理由や事例などをあげながら筋道を立てて話す。 △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話す。 △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書く。 △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解する。 ◇目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 ◇相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考える。 ◇話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。 ⇒◎思判表A(1)ウ ◇必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを持つこと。 ⇒思判表A(1)エ ◇目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。 ⇒思判表A(1)オ ◇説明や報告など調べたことを話したり、それらを聞いたりする活	◎【知技】相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(【知識及び技能】(1)イ) ◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(【知識及び技能】(2)ア) ◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。(【思考力、判断力、表現力等】Aイ) ◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Aウ) 【態度】粘り強く、理由や事例などを挙げながら話の中心が明確になるように構成を考え、学習の見通しをもって、写真から読み取ったことを話そうとしている。

9	5 (書く 5) 新聞を作ろう	<p>■割り付けを工夫して、わかりやすい紙面の新聞を作る。 △漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。 ⇒◎知技(1)ウ</p> <p>△丁寧な言葉を使い、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ⇒知技(1)キ</p> <p>■考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒◎知技(2)ア</p> <p>■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア</p> <p>■書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えたこと。 ⇒思判表B(1)イ</p> <p>■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表B(1)ウ</p> <p>■間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えること。 ⇒◎思判表B(1)エ</p> <p>■書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)オ</p> <p>■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア</p>	<p>◎【知技】漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに、句読点を適切に打っている。(【知識及び技能】(1)ウ)</p> <p>◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(【知識及び技能】(2)ア)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。(【思考力、判断力、表現力等】Bエ)</p> <p>【態度】粘り強く間違いを正したり文章を整えたりし、学習の見通しをもって新聞を作ろうとしている。</p>
9	2 漢字の広場 ③ 送りがなの付け方	<p>△送り仮名は、漢字の読みや意味をはっきりさせるはたらきをもつことを理解し、漢字を正しく使う。 △漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書く。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読む。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。</p>	<p>◎【知技】漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに、句読点を適切に打っている。(【知識及び技能】(1)ウ)</p> <p>【態度】進んで送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使い、学習課題に沿って、漢字を正しく使おうとしている。</p>
1 (書く 1)	都道府県名に用いる漢字	<p>△都道府県名に用いる漢字などを使って文を書く。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。 △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書く。</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(【知識及び技能】(1)エ)</p> <p>【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(【思考力、判断力、表現力等】Bア)</p> <p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習課題に沿って、都道府県名を覚えたり書いたりしようとしている。</p>
2 (書く 2)	漢字の広場 ③ 三年生で学んだ漢字	<p>△絵を見て想像したことをもとに、3年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ</p> <p>△丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ⇒知技(1)キ</p> <p>■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表B(1)ウ</p> <p>■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(【知識及び技能】(1)エ)</p> <p>【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ)</p> <p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書くこととしている。</p>
9 ～ 10 (書く 2)	六 場面の様子をく らべて読み、感想を まとめよう 一つの花	<p>□登場人物の思いを想像しながら、二つの場面を比べて読み、読んだ感想を友達に伝える。</p> <p>△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにする。 △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解する。 △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解する。 △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付く。</p>	<p>◎【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(【知識及び技能】(1)オ)</p> <p>◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(【知識及び技能】(2)ア)</p> <p>【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(【思考力、判断力、表現力等】Bア)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。(【思考力、判断力、表現力等】Cエ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。(【思考力、判断力、表現力等】Cオ)</p> <p>【態度】積極的に、文章を読んで理解したことに基いて感想や考えをもち、学習の見通しをもって、心に残った場面をもとに感想文を書くこととしている。</p>
10	2 いろいろな手紙を書 こう	<p>■手紙の書き方を知り、送る相手や伝える目的に合わせて手紙を書く。 △言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付く。 △漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書く。 △様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにする。 △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書く。</p>	<p>◎【知技】丁寧な言葉を使っているとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。(【知識及び技能】(1)キ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。(【思考力、判断力、表現力等】Bエ)</p> <p>【態度】粘り強く間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認し、学習の見通しをもって、送る相手や伝える目的に合わせて手紙を書くこととしている。</p>
10	2 修飾語	<p>△文の中での修飾語のはたらきを理解する。 △様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ</p> <p>△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 ⇒◎知技(1)カ</p>	<p>◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(【知識及び技能】(1)カ)</p> <p>【態度】進んで修飾と被修飾との関係について理解し、学習の見通しをもって、修飾語を見つめたり、修飾語の種類を見分けていたりしている。</p>
10	6 (書く 6)	七 自由に想像を広 げて書こう	<p>■不思議な言葉を作り、想像を広げて「ショートショート」を書く。</p>

		「ショートショート」を書こう	<p>△言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付く。</p> <p>△漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書く。</p> <p>△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解する。</p>	<p>◎【【知技】漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに、句読点を適切に打っている。(【知識及び技能】(1)ウ)</p> <p>◎【【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(【思考力、判断力、表現力等】Bア)</p> <p>◎【【態度】積極的に、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、学習の見通しをもって「ショートショート」を書こうとしている。</p>
10	1 (書く1)	「月」のつく言葉	<p>△昔から「月」に対してさまざまな呼称があったことを知り、「月」に関係する言葉を集める。</p> <p>△比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方理解し使う。</p> <p>△易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむ。</p>	<p>◎【【知技】易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(【知識及び技能】(3)ア)</p> <p>◎【【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(【思考力、判断力、表現力等】Bア)</p> <p>◎【【態度】進んで「月」に関わる言葉を音読するなどして言葉の響きやリズムに親しみ、学習の見通しをもって「月」に関係する言葉を集めようとしている。</p>
10	8 (書く2)	一場面のうつりかわりと結びつけ、登場人物の変化を読もう ごんぎつね	<p>□人物の気持ちや場面が移り変わるおもしろさを読み、読書の世界を豊かにする。</p> <p>△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにする。</p> <p>△考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解する。</p>	<p>◎【【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(【知識及び技能】(1)オ)</p> <p>◎【【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ)</p> <p>◎【【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移りかわりと結び付けて具体的に想像している。(【思考力、判断力、表現力等】Cエ)</p> <p>◎【【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。(【思考力、判断力、表現力等】Cオ)</p> <p>◎【【態度】積極的に、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移りかわりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって物語のポスターを作ろうとしている。</p>
10 ～ 11	5	「読書発表会」をしよう	<p>△紹介したい本を何冊か選び、「読書発表会」で発表する。</p> <p>△紹介したい本を何冊か選び、「読書発表会」をし、読書の幅を広げる。</p> <p>△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解する。</p> <p>△文章全体の内容や構成の大体を意識しながら音読する。</p> <p>△考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>△比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方理解し使う。</p> <p>△幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付く。</p>	<p>◎【【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方理解し使っている。(【知識及び技能】(2)イ)</p> <p>◎【【知技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(【知識及び技能】(3)オ)</p> <p>◎【【思判表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(【思考力、判断力、表現力等】Cカ)</p> <p>◎【【態度】積極的に文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、学習の見通しをもって、「読書発表会」で本を紹介しようとしている。</p>
11	4 (話す聞く1)	言葉が表す感じ、言葉から受ける感じ	<p>△言葉や音が表すイメージや、イメージに即した言葉を考えていることよって、言葉の特性について考える。</p> <p>△言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付く。</p> <p>△相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話す。</p> <p>△考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解する。</p>	<p>◎【【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(【知識及び技能】(1)ア)</p> <p>◎【【思判表】「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。(【思考力、判断力、表現力等】Aイ)</p> <p>◎【【態度】進んで、言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付こうとし、学習課題に沿って、言葉がもつイメージについて考えようとしている。</p>
11	8 (話す聞く8)	二 目的や進め方をたしかめて話し合おう 新スポーツを考えよう	<p>◇司会者や発着者などの役割を果たしながら、話し合いの進行に合わせ、互いの考えをよく伝え合って話し合う。</p> <p>△相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話す。</p> <p>△考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>△比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方理解し使う。</p>	<p>◎【【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(【知識及び技能】(2)ア)</p> <p>◎【【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方理解し使っている。(【知識及び技能】(2)イ)</p> <p>◎【【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(【思考力、判断力、表現力等】Aオ)</p> <p>◎【【態度】積極的に目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たし、学習の見通しをもってクラスで話し合おうとしている。</p>
11	2	漢字の広場 ④ いろいろな意味を表す漢字	<p>△一つの漢字には、複数の意味がある場合が多いことを理解する。</p> <p>△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ</p> <p>△比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方理解し使うこと。⇒知技(2)イ</p>	<p>◎【【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(【知識及び技能】(1)エ)</p> <p>◎【【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。学習課題に沿って、漢字がもつ複数の意味について考えようとしている。</p>
	2 (書く2)	漢字の広場 ④ 三年生で学んだ漢字④	<p>△絵を見て想像したことをもとに、3年生で学んだ漢字などを使って文を書く。</p> <p>△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。</p> <p>△丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書く。</p>	<p>◎【【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(【知識及び技能】(1)エ)</p> <p>◎【【思判表】「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(【思考力、判断力、表現力等】Bオ)</p> <p>◎【【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。</p>
11 ～ 12	9 (書く2)	三 大事な言葉や文に気をつけて要約しよう ウミガメの命をつなぐ	<p>□ウミガメの産卵や成長を研究する名古屋水族館の取り組みを時系列に沿って読み、興味をもった点から整理して文章を要約する。</p> <p>△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解する。に役立つことに気付く。</p> <p>■書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考える。</p> <p>■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫する。</p> <p>■書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。</p>	<p>◎【【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(【知識及び技能】(2)ア)</p> <p>◎【【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方理解し使っている。(【知識及び技能】(2)イ)</p> <p>◎【【思判表】「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(【思考力、判断力、表現力等】Bイ)</p> <p>◎【【思判表】「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。(【思考力、判断力、表現力等】Cウ)</p> <p>◎【【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。(【思考力、判断力、表現力等】Cオ)</p> <p>◎【【態度】積極的に、目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約し、学習の見通しをもって、本教材の紹介文を書こうとしている。</p>
12	2	二つのことがらをつなぐ	<p>△二つの事柄をつなぐとき、使う言葉によって内容が大きく変わること理解し、接続語のはたらきを意識して、正しく使い分ける。</p> <p>△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにする。</p> <p>△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解する。</p>	<p>◎【【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(【知識及び技能】(1)カ)</p> <p>◎【【態度】進んで接続する語句の役割について理解し、学習の見通しをもって、接続語のはたらきを意識して正しく使い分けようとしている。</p>

12	6 (書く 6)	四 調べたことをわかりやすく書こう 「不思議ずかん」を作ろう	■図や写真などの資料を活用し、紙面を工夫して図鑑を作る。 △漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を利用して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書く。 △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解する。 △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使う。	◎【 【 知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。 （〔知識及び技能〕(2)イ） ◎【 【 思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア） ◎【 【 思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） ◎【 【 思判表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bエ） 【 【 態度】積極的に、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって「不思議ずかん」を作ろうとしている。
12	4 (書く 1)	故事成語	△故事成語の意味を知り、友達に紹介するためのカードを作る。 △長い間使われてきたことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使う。	◎【 【 知技】長い間使われてきたことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使っている。（〔知識及び技能〕(3)イ） 【 【 思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） 【 【 態度】積極的に、長い間使われてきた故事成語の意味を知り、学習の見通しをもってカードにまとめようとしている。
1	2	詩を楽しもう いろいろな詩 おおきな木 とびばこ だんだん	□さまざまな形の作品を読みながら、詩の世界を楽しむ。 △文章全体の内容や構成の大体を意識しながら音読する。 △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付く。	◎【 【 知技】文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。（〔知識及び技能〕(1)ク） ◎【 【 思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ） ◎【 【 思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ） 【 【 態度】進んで、詩を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって発表し合おうとしている。
1	2	漢字の広場 ⑤ 熟語のでき方	△二つの漢字を組み合わせた熟語の構成について、問題が解きながら確認し、二つの漢字のつながり方を考える。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読む。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。 △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使う。	◎【 【 知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ） 【 【 態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、二つの漢字を組み合わせた熟語の構成について考えようとしている。
2	2 (書く 2)	漢字の広場 ⑤ 三年生で学んだ漢字 ⑤	△絵を見て想像したことをもとに、3年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。 △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書く。	◎【 【 知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ） 【 【 思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア） 【 【 態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書くこととしている。
1 ～ 2	15 (話す 聞く9、 書く1)	五 自分の経験と結びつけて考えよう 身のまわりの「便利」なものを考えよう 「便利」ということ	◇「便利だな」と思うものを思い浮かべ、その理由から自分にとっての「便利」とはどういうことか話し合う。 ◇身のまわりの道具や設備などから「便利」なものを選び、使いやすくなる工夫を考えて話し合う。 △言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付く。 □「便利」とはどういうことかを考えながら読み、自分の経験と照らし合わせながら考えをまとめる。 △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解する。 △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解する。 △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使う。 △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付く。	◎【 【 知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア） ◎【 【 思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aア） 【 【 態度】進んで、目的を意識して日常生活の中から集めた材料を比較したり分類したりし、学習の見通しをもって、クラス全体やグループで話し合おうとしている。 ◎【 【 知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。（〔知識及び技能〕(2)ア） ◎【 【 知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。（〔知識及び技能〕(2)イ） ◎【 【 知技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。（〔知識及び技能〕(3)オ） 【 【 思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） ◎【 【 思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ） ◎【 【 思判表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ） 【 【 態度】積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって、「便利」について考えたことを文章にまとめようとしている。
		調べてわかったことを発表しよう	△調べたことについて、写真や図、表やグラフなどを使って説明したり、話の中心に気をつけて聞いたりする。 △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書く。 △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解する。 △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使う。 ◇目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 ◇相手に伝えるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考える。 ◇話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫する。 ◇必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを持つ。 ◇質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする。	◎【 【 知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。（〔知識及び技能〕(2)イ） ◎【 【 思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aウ） 【 【 態度】積極的に、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、見通しをもって調べたことを発表し合おうとしている。
2	2	点(、)を打つところ	△読点のはたらきを理解して、正しく使い分ける。 △漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を利用して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書く。 △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解する。	◎【 【 知技】漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を利用して文や文章の中で使っているとともに、句読点を適切に打っている。（〔知識及び技能〕(1)ウ） 【 【 態度】進んで句読点のはたらきを理解し、学習課題に沿って、文や文章の中で適切に使おうとしている。

2	9 (書く 9)	六 伝えたいことを はっきりさせて書 こう 自分の成長をふり 返って	<p>■様子がわかるように、よりよい表現を選んで書く。</p> <p>△漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書く。</p> <p>△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解する。</p> <p>△考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解する。</p>	<p>◎【【知技】漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに、句読点を適切に打っている。(【知識及び技能】(1)ウ)</p> <p>◎【【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(【知識及び技能】(1)カ)</p> <p>◎【【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ)</p> <p>◎【【思判表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えている。(【思考力、判断力、表現力等】Bエ)</p> <p>◎【【思判表】「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(【思考力、判断力、表現力等】Bオ)</p> <p>【【態度】積極的に、書こうとしたことが明確になっているかなど文章に対する感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって、よりよい表現を選んで文章を書こうとしている。</p>
2	1 (書く 1)	雪	<p>△「雪」を扱った言語表現を集める。</p> <p>△考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>△長い間使われてきたことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使う。</p>	<p>◎【【知技】長い間使われてきたことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使っている。(【知識及び技能】(3)イ)</p> <p>【【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ)</p> <p>【【態度】進んで、長い間使われてきた「雪」に関する言葉の意味を知ろうとし、学習の見通しをもって「雪」に関する詩歌や言葉を集めようとしている。</p>
2	2	漢字の広場 ⑥ 同じ読み方の漢字の 使い分け	<p>△異字同訓や同音異義語の使い分けについて意識をもって、漢字を読んだり書いたりする。</p> <p>△漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書く。</p> <p>△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。</p> <p>△比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使う。</p>	<p>◎【【知技】漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに、句読点を適切に打っている。(【知識及び技能】(1)ウ)</p> <p>【【態度】進んで同じ読み方の漢字の使い分けを理解し、学習課題に沿って、文や文章の中で正しく使おうとしている。</p>
2	2 (書く 2)	漢字の広場 ⑥ 三年生で学んだ漢字 ⑥	<p>△絵を見て想像したことをもとに、3年生で学んだ漢字などを使って文を書く。</p> <p>△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読む。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。</p> <p>△丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書く。</p>	<p>◎【【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(【知識及び技能】(1)エ)</p> <p>【【思判表】「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(【思考力、判断力、表現力等】Bイ)</p> <p>【【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、お話の一場面を書こうとしている。</p>
3	8 (書く 2)	七 場面のうつり変 わりと、登場人物の 気持ちの変化を読 もう 木竜うるし(人形げ き)	<p>□登場人物の考え方の違いや、その移り変わりを考えながら読み、気に入った場面を物語のように書きかえる。</p> <p>△相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話す。</p> <p>△文章全体の内容や構成の大体を意識しながら音読する。</p> <p>△幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付く。</p>	<p>◎【【知技】相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(【知識及び技能】(1)イ)</p> <p>【【思判表】「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(【思考力、判断力、表現力等】Bイ)</p> <p>◎【【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(【思考力、判断力、表現力等】Cオ)</p> <p>◎【【思判表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(【思考力、判断力、表現力等】Cカ)</p> <p>【【態度】積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって、脚本を物語のように書きかえようとしている。</p>
3	2 (話す 聞く1, 書く1)	国語の学習 これま で これから	<p>◇一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、すすんで学習できるようにする。</p> <p>△相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話す。</p> <p>△考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>◇目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。</p> <p>◇話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫する。</p>	<p>◎【【知技】相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(【知識及び技能】(1)イ)</p> <p>◎【【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Aウ)</p> <p>◎【【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ)</p> <p>【【態度】進んで話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、今までの学習を生かして、一年間の国語の学習を振り返ったり次年への希望を話し合ったりしようとしている。</p>

教科	国語	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のわらい)	単元のもどまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ひみつの言葉を引き出そう	1	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア) ○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができる。(思・判・表A(1)エ) ■友達から「ひみつの言葉」を引き出せるように話す。	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア)	○「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えている。(A(1)エ)	○進んで自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもって友達から「ひみつの言葉」を引き出せるように話そうとしている。
かんがえるのって おもしろい	1	◎詩を音読することができる。(知・技(1)ケ) ○詩を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ) ■音読して、想像したことを伝え合う。	○詩を音読している。((1)ケ)	○「読むこと」において、詩を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ)	○進んで詩を音読し、学習課題に沿って想像したことを伝え合おうとしている。1
名前を使って、自己しょうかい	1	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解することができる。(知・技(1)カ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア) ○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1))	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア) ・文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解している。((1)カ)	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア) ・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)カ)	○積極的に文章の構成や展開について理解し、これまでの学習をいかして自分を紹介する文章を書こうとしている。
銀色の裏地	5	◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ◎登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ■印象に残ったことを伝え合う。	○比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ)	○「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)	○粘り強く登場人物の相互関係や心情を捉え、学習の見通しをもって印象に残ったことを伝え合おうとしている。
図書館を使いこなそう	1	◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。(知・技(3)オ) ■本を探して、記録カードを書く。 ☆図書館で本を探す活動(図)	○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。((3)オ)		○進んで読書が自分の考えを広げることに関与することに気づき、これまでの学習をいかして本を探して、記録カードを書こうとしている。
漢字の成り立ち	2	漢字の成り立ち	○漢字の由来、特質などについて理解している。((3)ウ)		○進んで漢字の由来、特質などに関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとする。
春の空	1	○親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア) ■春らしいものや様子を文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)	○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア)	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア)	○積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って春らしいものや様子を文章に書こうとしている。

<p>きいて、きいて、きいてみよう</p>	<p>6</p> <p>◎情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ) ◎話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。(知・技(1)イ) ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア) ■インタビューをし、報告する。 ☆インタビューを行い、報告する活動(社会、総合的な学習の</p>	<p>◎話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。((1)イ) ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ)</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)</p>	<p>◎粘り強く話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもってインタビューをしたり、報告したりしようとしている。</p>
<p>見立てる言葉の意味が分かること【情報】原因と結果</p>	<p>7</p> <p>◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア) ◎文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ) ■考えたことを伝え合う。 ☆外国語や異文化への興味を</p>	<p>◎文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)</p>	<p>◎「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ)</p>	<p>◎粘り強く文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。</p>
<p>敬語</p>	<p>2</p> <p>◎日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。(知・技(1)キ) ◎言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ☆礼儀や言葉遣いが、円滑な人とのつながりをつくることについて考える題材(道徳)</p>	<p>◎言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア) ・日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。((1)キ)</p>		<p>◎進んで日常よく使われる敬語について理解し、学習課題に沿って使い慣れようとしている。</p>
<p>日常を十七音で</p>	<p>3</p> <p>◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ◎俳句の構成や書き表し方などに着目して、俳句を整えることができる。(思・判・表B(1)オ) ◎俳句の中で漢字と仮名を適切に使い分けすることができる。(知・技(1)ウ) ◎目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■俳句を作る。</p>	<p>◎俳句の中で漢字と仮名を適切に使い分けしている。((1)ウ) ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク)</p>	<p>◎「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、俳句の構成や書き表し方などに着目して、俳句を整えている。(B(1)オ)</p>	<p>◎粘り強く構成や書き表し方などに着目して文言を整え、学習の見通しをもって俳句を作ろうとしている。</p>
<p>漢字の広場①</p>	<p>1</p> <p>◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)</p>	<p>◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)</p>	<p>◎「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)</p>	<p>◎進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。</p>
<p>古典の世界(一)</p>	<p>2</p> <p>◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。(知・技(3)イ) ■古文を音読する。 ☆我が国の伝統と文化を尊重</p>	<p>◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。((3)イ)</p>		<p>◎進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って古文を音読しようとしている。</p>

【情報】目的に応じて引用するとき	2	<p>◎引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)エ)</p> <p>○情報と情報との関係づけのしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>■引用カードを書く。</p> <p>☆レポート等を作成する際に、目的に応じて適切な引用を行う活動(理科、社会、総合的な学</p>	<p>○情報と情報との関係づけのしかたを理解し使っている。(2)イ)</p>	<p>○「書くこと」において、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)エ)</p>	<p>○進んで目的に応じた引用のしかたを理解し、学習課題に沿って引用カードを書こうとしている。</p>
みんなが使いやすいデザイン	8	<p>◎目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)</p> <p>○情報と情報との関係づけのしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>■報告する文章を書く。</p> <p>☆よりよい社会や学校生活をつくろうと考える題材(道徳、総合的な学習の時間)</p> <p>☆調べたことを報告する文章の書き方を工夫する活動(理科、社会、総合的な学習の時間)</p> <p>☆インターネットによる情報収集(2)イ)</p>	<p>○情報と情報との関係づけのしかたを理解し使っている。(2)イ)</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p>	<p>○粘り強く目的や意図に応じて集めた材料を分類したり関係づけたりし、学習の見通しをもって報告する文章を書こうとしている。</p>
同じ読み方の漢字	2	<p>◎第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)</p>	<p>○第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)</p>		<p>○進んで同じ読み方の漢字の使い分けに関心をもち、これまでの学習をいかしてそれらを理解しようとしている。</p>
夏の夜	1	<p>○親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア)</p> <p>○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ)</p> <p>○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア)</p> <p>■夏らしいものや様子を文章に書く。</p> <p>☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)</p>	<p>○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ)</p> <p>○親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア)</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア)</p>	<p>○積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って夏らしいものや様子を文章に書こうとしている。</p>
作家で広げるわたしたちの読書モモ	5	<p>◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。(知・技(3)オ)</p> <p>○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ)</p> <p>■本の魅力を伝え合う。</p> <p>☆作家を意識して選んだ本を読む活動(図書館活用)</p>	<p>○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。(3)オ)</p>	<p>○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ)</p>	<p>○積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本の魅力を伝え合おうとしている。</p>
かぼちゃのつるがわれは草なり	2	<p>◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク)</p> <p>○詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>■考えたことを伝え合う。</p>	<p>○比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。(1)ク)</p>	<p>○「読むこと」において、詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ)</p>	<p>○進んで比喩や反復などの表現の工夫に気づき、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。</p>
どちらを選びますか	2	<p>◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)オ)</p> <p>◎互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。(思・判・表A(1)オ)</p> <p>■立場に分かれて話し合う。</p> <p>☆適切な資料を用意し、相手が納得する説明をする活動(特別活動)</p>	<p>○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。(1)オ)</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ)</p>	<p>○積極的に互いの立場を明確にして、これまでの学習をいかして立場に分かれて話し合おうとしている。</p>
新聞を読もう	2	<p>◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。(思・判・表C(1)ウ)</p> <p>○文章の構成や、文章の種類と特徴について理解することができる。(知・技(1)カ)</p> <p>○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア)</p> <p>■新聞記事を読む。</p> <p>☆新聞記事等による情報収集</p>	<p>○文章の構成や、文章の種類と特徴について理解している。(1)カ)</p>	<p>○「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア)</p> <p>○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ)</p>	<p>○進んで必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりし、学習課題に沿って新聞記事を読もうとしている。</p>

文章に説得力をもたせるには	2	◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ)	○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ)	○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ)	○積極的に筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
漢字の広場②	1	◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)	○第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)	○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)	○進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
たずねびと	6	◎人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思・判・表C(1)エ) ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ■考えたことを伝え合う。 ☆戦争や平和について考えさせるとともに、平和を願う心を養う題材(道徳) ☆紹介された本を選んで読む活動(図書館活用)	○比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。(知・技(1)ク)	○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ)	○粘り強く物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
漢字の広場③	1	◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)	○第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)	○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)	○進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
方言と共通語	2	◎共通語と方言との違いを理解することができる。(知・技(3)ウ)	○共通語と方言との違いを理解している。((3)ウ)		○進んで方言と共通語の違いに関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。
秋の夕	1	◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア) ■秋らしいものや様子を文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)	○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア)	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア)	○積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って秋らしいものや様子を文章に書こうとしている。
よりよい学校生活のために【コラム】意見が対立したときには	6	◎情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア) ◎互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。(思・判・表A(1)オ) ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)オ) ■身の回りの問題について、それぞれの立場から考えを伝えて話し合う。 ☆身近な問題に気づき、仲間と共に解決を図る学習(特別活動、社会、総合的な学習の時間) ☆ICT端末の機能を使って、出	○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。((1)オ) ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ)	○「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ)	○粘り強く互いの立場や意図を明確にしながらか、学習の見通しをもって身の回りの問題を解決するために話し合おうとしている。

浦島太郎——「御伽草子」より	<p>1</p> <p>◎古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。(知・技(3)イ)</p> <p>○親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア)</p> <p>○時間の経過による言葉の変化に気づくことができる。(知・技(3)ウ)</p> <p>■古典の文章を読み、知っている話と比べて思ったことを話す。</p>	<p>○親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア)</p> <p>・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。(3)イ)</p> <p>・時間の経過による言葉の変化に気づいている。(3)ウ)</p>		<p>○進んで昔の人のものの見方や感じ方を知り、学習課題に沿って古典の文章について思ったことを話そうとしている。</p>
和語・漢語・外来語	<p>2</p> <p>◎語句の由来などに関心をもつとともに、世代による言葉の違いに気づくことができる。(知・技(3)ウ)</p> <p>○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を</p>	<p>○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ)</p> <p>・語句の由来などに関心をもつとともに、世代による言葉の違いに気づいている。(3)ウ)</p>		<p>○進んで和語・漢語・外来語などの由来に関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。</p>
固有種が教えてくれること 自然環境を守るために 【コラム】統計資料の読み方	<p>10</p> <p>◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>○引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)エ)</p> <p>◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。(思・判・表C(1)ウ)</p> <p>○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること</p>	<p>○原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること</p>	<p>○「書くこと」において、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)エ)</p> <p>・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア)</p> <p>・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ)</p>	<p>○粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、学習の見直しをもって、読み取った筆者の工夫をいかして統計資料を用いた意見文を書こうとしている。</p>
カンジ博士の暗号解読	<p>2</p> <p>◎第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)</p>	<p>○第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)</p>		<p>○進んで漢字の読み方に関心をもち、これまでの学習をいかして漸次書こうとしている。</p>
古典の世界(二)	<p>1</p> <p>○親しみやすい漢文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア)</p> <p>○作品の内容の大体を知ることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。(知・技(3)イ)</p> <p>■漢文を音読する。 ☆国語に対する関心と、我が国の文化と伝統に対する理解と愛情を養う題材(道徳)</p>	<p>○親しみやすい漢文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア)</p> <p>・作品の内容の大体を知ることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。(3)イ)</p>		<p>○進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って漢文を音読しようとしている。</p>
漢字の広場④	<p>1</p> <p>◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)</p> <p>・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)</p> <p>■示された言葉を使って、それぞれの県についての文を書く。</p>	<p>○第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)</p>	<p>○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)</p>	<p>○進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。</p>

<p>やなせたかし——アンパンマンの勇氣</p>	<p>5</p> <p>◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与している。(知・技(3)オ) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ) ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ■伝記を読み、自分の生き方について考えたことを交流する。</p>	<p>◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与している。(3)オ)</p>	<p>○「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ)</p>	<p>○積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを交流しようとしている。</p>
<p>あなたは、どう考える</p>	<p>6</p> <p>◎語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ◎文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)カ) ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くことで、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■意見文を書く。 ☆自分の関心のあることから題材を決め、詳しく知りたいと思うことを調べる活動(社会、総合的な学習の時間) ☆意見や理由とその根拠を説明する活動(社会、総合的な学習の時間) ☆ICT端末に文章構成の表を用意し、付箋機能を使い、文章</p>	<p>○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ) ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ)</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くことで、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)カ)</p>	<p>○積極的に文章に対する感想や意見を伝え合い、学習の見直しをもって意見文を書くようになっている。</p>
<p>冬の朝</p>	<p>1</p> <p>◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア) ■冬らしいものや様子を文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)</p>	<p>○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア)</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア)</p>	<p>○積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習の課題に沿って冬らしいものや様子を文章に書こうとしている。</p>
<p>好きな詩のよさを伝えよう</p>	<p>2</p> <p>○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア) ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ) ■詩を紹介する文章を書く。 ☆詩集を読む活動(図書館利</p>	<p>○比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。(1)ク)</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ)</p>	<p>○積極的に詩を読んでまとめた感想を共有し、学習課題に沿って詩を紹介しようとしている。</p>
<p>言葉でスケッチ</p>	<p>2</p> <p>◎目的や意図に応じて事実と感想とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ■情景が伝わるように書く。</p>	<p>○比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。(1)ク)</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて事実と感想とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>○粘り強く自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習課題に沿って情景が伝わるように書こうとしている。</p>
<p>熟語の読み方</p>	<p>2</p> <p>◎第5学年までに配当されている漢字を読むことができる。(知・技(1)エ)</p>	<p>○第5学年までに配当されている漢字を読んでいる。(1)エ)</p>		<p>○進んで熟語の読み方に関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。</p>
<p>漢字の広場⑤</p>	<p>1</p> <p>◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)</p>	<p>○第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)</p>	<p>○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)</p>	<p>○進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書くようになっている。</p>

想像力のスイッチを入れよう	6	◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ) ◎文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ◎文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ) ■メディアとの関わりについて考えを伝え合う。 ☆メディアとの関わり方について理解し、考えをもつ題材(総合的な学習の時間)	◎文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ)	◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ)	◎積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習の見通しをもってメディアとの関わり方について話し合おうとしている。
複合語	2	◎語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)	◎語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。(1)オ)		◎進んで複合語の構成や変化について関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。
言葉を使い分けよう	3	◎言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ◎語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ◎目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■手紙を書く。	◎言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。(1)ア) ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ)	◎「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	◎積極的に語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って手紙を書こうとしている。
もう一つの物語	6	◎話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ■別の物語に書き換える。	◎話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ)	◎「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ)	◎粘り強く文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって物語を書こうとしている。
「子ども未来科」で何をする	6	◎話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。(知・技(1)イ) ◎話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ◎文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ◎資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ■提案するスピーチを行う。 ☆自分の関心のあることから題材を決め、詳しく知りたいと思うことを調べる活動(社会、総合的な学習の時間) ☆意見や理由と根拠を説明する活動(社会、総合的な学習の時間)	◎話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。(1)イ) ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ)	◎「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)	◎粘り強く話の構成を考え、学習の見通しをもって提案するスピーチをしようとしている。
大造じいさんとガン	6	◎文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ) ◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ◎文章を音読したり朗読したりすることができる。(知・技(1)ケ) ◎人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思・判・表C(1)エ) ■物語の魅力伝える文章を書く。 ■物語の魅力が表れていると	◎比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。(1)ク) ・文章を音読したり朗読したりしている。(1)ケ)	◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ)	◎積極的に意見や感想を共有し、学習の見通しをもって物語の魅力伝える文章を書こうとしている。
漢字の広場⑥	1	◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)	◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)	◎「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)	◎進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。

<p>五年生をふり返って</p>	<p>1</p> <p>○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア) ■1年間の国語科での学びを振り返って、書く。</p>	<p>○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。(1)ア)</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア)</p>	<p>○進んで考えたことなどから書くことを選び、学習課題に沿って1年間の振り返りを書こうとしている。</p>
------------------	---	---	--	--

令和6年度 国語 評価規準 (第6学年)

単元・教材のねらいと、「学習指導要領」に示された「指導事項」「言語活動例」から、あてはまるものを表示。重点指導事項には、◎を付した。

△知識・技能 思考・判断・表現 (○話すこと・聞くこと ■書くこと □読むこと) ☆他教科との関連

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 (学習事項(1)・言語活動例(2))	評価規準
4	—	六年生で学ぶこと		
4	—	言葉で伝え合おう		
4	2 (話す聞く2)	自分に質問してみよう	<p>◇自分のことを客観的に捉えて話す。</p> <p>△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付く。</p> <p>◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。</p> <p>◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考える。</p> <p>◇資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。</p> <p>◇意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする。</p>	<p>◎【知技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ア)</p> <p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Aア)</p> <p>【態度】積極的に自分のことを客観的に捉え、今までの学習を生かして質問について考えようとしている。</p>
4	1	風景 純銀もぎいく	<p>□繰り返しの響きや意味に気をつけて音読し、言葉の意味を考える。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>△比喩や反復などの表現の工夫に気付く。</p> <p>△文章を音読したり朗読したりする。</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。(〔知識及び技能〕(1)オ)</p> <p>◎【知技】文章を音読したり朗読したりしている。(〔知識及び技能〕(1)ケ)</p> <p>◎【思判表】人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。⇒◎思判表C(1)エ</p> <p>【態度】進んで言葉の意味を考え、繰り返しの響きや意味に気をつけて音読しようとしている。</p>
	2	あの坂をのぼれば	<p>□言葉の意味に気をつけて音読し、言葉の意味を考える。</p> <p>△文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>△文章を音読したり朗読したりする。</p>	<p>◎【知技】文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。(〔知識及び技能〕(1)カ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ)</p> <p>【態度】進んで言葉の意味を考え、学習の見通しをもって音読しようとしている。</p>
4	3 (書く3)	図に表して考えよう	<p>■考えや意見を図に書いてまとめる。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。</p>	<p>◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(〔知識及び技能〕(2)イ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bア)</p> <p>【態度】粘り強く伝えたいことを明確にしようにし、学習の見通しをもって考えや意見を図に書いてまとめようとしている。</p>
4	11 ～ 5 (書く6)	一筆者のもの見方や感じ方などにふれ、随筆に親しもう	<p>△■自分に重ねながら随筆を読み、それを参考に、自分のもの見方や考え方を深め、経験したことなどを表現を工夫して書く。</p>	
4	3 (書く1)	春はあけぼの	<p>△『枕草子』の文章にふれ、リズムや響きを味わいながら音読し、『枕草子』ふの文章を書く。</p> <p>△文の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>△親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむ。</p> <p>△古典について解説した文章を読んだり作品の大体を知ったりすることを通して、昔の人のもの見方や感じ方を知る。</p>	<p>◎【知技】親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(〔知識及び技能〕(3)ア)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bア)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ)</p> <p>【態度】進んで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって『枕草子』ふうの文章を書くこととしている。</p>
5	3	薫風「迷う」	<p>△筆者のもの見方や感じ方などに触れ、随筆に親しむ。</p> <p>△文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。</p>	<p>◎【知技】文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。(〔知識及び技能〕(1)カ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cア)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ)</p> <p>【態度】積極的に随筆の特徴について理解し、今までの学習を生かして、者のもの見方や感じ方などに触れ、随筆に親しもうとしている。</p>
5	5 (書く5)	随筆を書こう	<p>■心を動かされたできごとから書く事柄を決め、随筆を書く。</p> <p>△話し言葉と書き言葉の違いに気付く。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>△文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。</p> <p>△比喩や反復などの表現の工夫に気付く。</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(〔知識及び技能〕(1)オ)</p> <p>◎【知技】比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ク)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bア)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ)</p> <p>【態度】積極的に随筆の特徴について理解し、学習課題に沿って心を動かされたできごとから書く事柄を決め、随筆を書くこととしている。</p>
5	1	漢字の広場 ① 三字以上の熟語の構成	<p>△三字以上の熟語の構成について理解を深め、由来に関心をもつ。</p> <p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)エ</p> <p>⇒知技(1)エ</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒◎知技(1)オ</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(〔知識及び技能〕(1)オ)</p> <p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって熟語の由来に関心をもち調べようとしている。</p>
	1 (書く1)	漢字の広場 ① 五年生で学んだ漢字	<p>△絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。</p> <p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。</p> <p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ)</p> <p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書くこととしている。</p>
5	5 ～ 6 (書く2)	二筆者の考えを読み、説明の仕方の特徴をとらえよう	<p>■雪エネルギーの利用に対する筆者の主張と取り上げた事例の関係、残された課題などを検討しながら読み、筆者の説明の仕方や雪エネルギーの利用について考えをまとめる。</p>	

5(書く2)	雪は新しいエネルギー	△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。 △思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使う。 △原因と結果など情報と情報との関係について理解する。 △情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。	◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((知識及び技能)(2)イ) ◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。((思考力、判断力、表現力等)Bウ) ◎【思判表】「読むこと」において、事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。((思考力、判断力、表現力等)Cア) ◎【思判表】「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。((思考力、判断力、表現力等)Cウ) 【態度】積極的に雪エネルギーの利用に対する筆者の主張と取り上げた事例の関係、残された課題などを検討し、今までの学習を生かして、筆者の説明の仕方や雪エネルギーの利用について考えをまとめようとしている。	
6	2	主語と述語の対応をみる	△主語と述語の対応を確認して、文のねじれに気づき、正しく直す。 △文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。	◎【知技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。((知識及び技能)(1)カ) 【態度】積極的に主語と述語の対応について理解し、今までの学習を生かして、文のねじれに気づき、正しく直そうとしている。
6	10(話す聞く6、書く4)	三 立場を決めて、主張を明確にしよう	◆【立場や意見をはっきりさせて話し合ったり、パンフレットを作成して伝えたりする。	
6		地域の防災について話し合おう	◇意見の違いを大事にしなが話し合い、考えを深める。 △思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。 また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使う。 △日常よく使われる敬語を理解し使い慣れる。 ◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。 ◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考える。 ◇資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。 ◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。 ◇互いの立場や意図を明確にしなが計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする。 ◇それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う。	◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。((知識及び技能)(1)オ) ◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしなが計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。((思考力、判断力、表現力等)Aア) 【態度】粘り強く意見の違いを大事にしなが話し合い、学習の見通しをもって考えを深めようとしている。
6		パンフレットで知らせよう	■相手や目的に応じて内容や構成を考え、パンフレットを作る。 △話し言葉と書き言葉との違いに気付く。 △文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。 △情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。	◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((知識及び技能)(2)イ) ◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。((思考力、判断力、表現力等)Bイ) ◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。((思考力、判断力、表現力等)Bウ) ◎【思判表】「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。((思考力、判断力、表現力等)Bエ) ◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。((思考力、判断力、表現力等)Bオ) 【態度】積極的に相手や目的に応じて内容や構成を考え、学習課題に沿ってパンフレットを作ろうとしている。
6	1(書く1)	雨	△「雨」を扱った言語表現を集める。 △語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く、共通語と方言との違いを理解すること。 また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解する。 ■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする。 ■短歌や俳句をつくるなど、感じたことや想像したことを書く。	◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。((知識及び技能)(3)ウ) 【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。((思考力、判断力、表現力等)Bア) 【態度】粘り強く「雨」を扱った言語表現を集め、学習の見通しをもって「言葉ノート」を作ろうとしている。
7	2	世代による言葉のちがいがい	△世代による言葉の違いについて理解し、相手や場面に応じて適切な言葉を選んで使うことができるようになる。 △言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。 ⇒知技(1)ア △語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く、共通語と方言との違いを理解すること。 また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。 ⇒知技(3)ウ ◇互いの立場や意図を明確にしなが計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。 ⇒思判表A(1)オ ◇インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動。 ⇒思判表A(2)イ	◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く、共通語と方言との違いを理解している。((知識及び技能)(3)ウ) 【思判表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしなが計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。((思考力、判断力、表現力等)Aオ) 【態度】積極的に世代による言葉の違いについて理解し、学習課題に沿って相手や場面に応じて適切な言葉を選んで使おうとしている。
7	1	漢字の広場 ② 複数の意味をもつ漢字	△複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味に関心をもつ。 △第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。 △語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く、共通語と方言との違いを理解すること。 また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解する。	◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。((知識及び技能)(3)ウ) 【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味を考えようとしている。
	1(書く1)	漢字の広場 ② 5年生で学んだ漢字 ②	△絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。 △文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒知技(1)ウ △第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。((知識及び技能)(1)エ) ◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。((思考力、判断力、表現力等)Bイ) 【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書くこととしている。
7	7(話す聞く2)	四 すぐれた表現の効果を考えて、登場人物の心情を読もう	□優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み、優れた表現についての感想を話し合う。	
7		川とワリオ	△比喩や反復などの表現の工夫に気付く。 △文章を音読したり朗読したりする。 △文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。 ◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。 ◇互いの立場や意図を明確にしなが計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする。	◎【知技】比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。((知識及び技能)(1)ク) ◎【知技】文章を音読している。((知識及び技能)(1)ク) 【思判表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしなが計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。((思考力、判断力、表現力等)Aオ) ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。((思考力、判断力、表現力等)Cイ) ◎【思判表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。((思考力、判断力、表現力等)Cエ) ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。((思考力、判断力、表現力等)Cオ) ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。((思考力、判断力、表現力等)Cカ) 【態度】進んで優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み、学習の見通しをもって優れた表現についての感想を話し合うようとしている。

9	2 (話す 聞く2)	<p>教えて！あなたの「とっ ておき」</p> <p>◇話し手の意図を考慮しながら聞き、自分の意見と比べて考えをまとめる。</p> <p>△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付く。</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。</p> <p>◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。</p> <p>◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。</p> <p>◇インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする。</p>	<p>◇話し手の意図を考慮しながら聞き、自分の意見と比べて考えをまとめる。</p> <p>△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付く。</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。</p> <p>◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。</p> <p>◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。</p> <p>◇インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする。</p>	<p>◎【知技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。(〔知識及び技能〕1)ア)</p> <p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Aエ)</p> <p>【態度】積極的に話し手の意図を考慮し、今までの学習を生かして自分の意見と比べて考えをまとめようとしている。</p>
9	1	<p>詩を味わおう イナゴ</p> <p>◇言葉の広がりや味わいながら、詩の世界を楽しむ。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>□登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。</p> <p>⇒思判表C(1)イ</p> <p>□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。</p> <p>⇒思判表C(1)オ</p> <p>□詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。⇒思判表C(2)イ</p>	<p>◇言葉の広がりや味わいながら、詩の世界を楽しむ。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>□登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。</p> <p>⇒思判表C(1)イ</p> <p>□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。</p> <p>⇒思判表C(1)オ</p> <p>□詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。⇒思判表C(2)イ</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(〔知識及び技能〕1)イ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕C)イ)</p> <p>【態度】積極的に言葉の広がりを味わい、学習課題に沿って詩の世界を楽しもうとしている。</p>
9	1 (書く 1)	<p>「知恵の言葉」を集めよう</p> <p>△生活の中で使われている知恵の言葉に気がつき、言葉の使い方への理解を深める。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。</p>	<p>△生活の中で使われている知恵の言葉に気がつき、言葉の使い方への理解を深める。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。(〔知識及び技能〕1)イ)</p> <p>◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(〔知識及び技能〕2)ア)</p> <p>【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ア)</p> <p>【態度】進んで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見直しをもって自分の「知恵の言葉」をつくらうとしている。</p>
9	5 (書く 5)	<p>五 てんかいは考えて、 表現を工夫して書く</p> <p>物語を作ろう</p> <p>■写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作る。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>△文の中で語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。</p> <p>△比喩や反復などの表現の工夫に気付く。</p>	<p>■写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作る。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>△文の中で語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。</p> <p>△比喩や反復などの表現の工夫に気付く。</p>	<p>◎【知技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(〔知識及び技能〕1)カ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)イ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ア)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)オ)</p> <p>【態度】積極的に物語のつくりの特徴について理解し、学習課題に沿って写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作ろうとしている。</p>
9	3 (話す 聞く1)	<p>会話を広げる</p> <p>△相手とのつながりをつくる言葉の働きを意識し、相手との言葉の掛け合いの工夫を考える。</p> <p>△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付く。</p> <p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。</p> <p>◇互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする。</p> <p>◇それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う。</p>	<p>△相手とのつながりをつくる言葉の働きを意識し、相手との言葉の掛け合いの工夫を考える。</p> <p>△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付く。</p> <p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。</p> <p>◇互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする。</p> <p>◇それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う。</p>	<p>◎【知技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。(〔知識及び技能〕1)ア)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)エ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)オ)</p> <p>【態度】積極的に相手とのつながりをつくる言葉の働きを意識し、学習課題に沿って相手との言葉の掛け合いの工夫を考えようとしている。</p>
9	1	<p>漢字の広場 ③ 熟語の使い分け</p> <p>△意味のよく似た熟語の使い方の違いを理解し、使い分ける。</p> <p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。</p>	<p>△意味のよく似た熟語の使い方の違いを理解し、使い分ける。</p> <p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(〔知識及び技能〕1)オ)</p> <p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見直しをもって意味のよく似た熟語の使い方の違いを理解し、使い分けようとしている。</p>
9	1 (書く1)	<p>漢字の広場 ③ 5年生で学んだ漢字 ③</p> <p>△絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。</p> <p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。</p> <p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。</p>	<p>△絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。</p> <p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。</p> <p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕1)エ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)オ)</p> <p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書くようしている。</p>
10	12 (話す聞く 3,書く2)	<p>ー「心の世界」について考え、 自分の考えを伝え合おう あなたはどう感じる？</p> <p>◇友達と自分の感じ方の違いについて考える。</p> <p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。</p> <p>□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。</p>	<p>◇友達と自分の感じ方の違いについて考える。</p> <p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。</p> <p>□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。</p>	<p>◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(〔知識及び技能〕2)イ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(〔思考力、判断力、表現力等〕C)オ)</p> <p>【態度】進んで文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、学習課題に沿って友達と自分の感じ方の違いについて考えようとしている。</p>
		<p>ぼくの世界、君の世界</p> <p>□筆者の考えに気をつけながら、文章の要旨を捉え、「心の世界」について考える。</p> <p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。</p> <p>△文の中で語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。</p> <p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。</p>	<p>□筆者の考えに気をつけながら、文章の要旨を捉え、「心の世界」について考える。</p> <p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。</p> <p>△文の中で語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。</p> <p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。</p>	<p>◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(〔知識及び技能〕2)ア)</p> <p>【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ア)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、目的に応じて、文と図表などを結び付けるなどして必要な情報を提供したり、論の進め方について考えたりしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕C)ウ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(〔思考力、判断力、表現力等〕C)オ)</p> <p>【態度】進んで筆者の考えに気をつけながら、文章の要旨を捉え、自分の経験をふりかえりながら「心の世界」について考えようとしている。</p>
		<p>「うれしさ」って何？——哲 学対話をしよう</p> <p>◇お互いの考えや意見を関連づけて述べ合い、共通点や相違点をもとに分類する。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。</p> <p>◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。</p> <p>◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考える。</p> <p>◇資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。</p> <p>◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。</p> <p>◇互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする。</p>	<p>◇お互いの考えや意見を関連づけて述べ合い、共通点や相違点をもとに分類する。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。</p> <p>◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。</p> <p>◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考える。</p> <p>◇資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。</p> <p>◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。</p> <p>◇互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする。</p>	<p>◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(〔知識及び技能〕2)ア)</p> <p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(〔思考力、判断力、表現力等〕A)エ)</p> <p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕A)オ)</p> <p>【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ア)</p> <p>【態度】積極的にお互いの考えや意見を関連づけて述べ合い、今までの学習を生かして共通点や相違点をもとに分類しようとしている。</p>

10 ～ 11	5 (書く2) 言葉は時代とともに	△言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを知り、自分の考えをまとめ。 △古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のもの見方や感じ方を知る。 △文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。 △語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や時代による言葉の違いに気付き、共通語と方言の違いを理解する。 また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解する。 △思考に関わる語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。 また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。	◎【知技】古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のもの見方や感じ方を知っている。(【知識及び技能】(3)イ) 【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(【思考力、判断力、表現力等】B) 【態度】積極的に言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。
11	6 (書く6) 二 説得力のある文章を書く 自分の考えを発信しよう	■理由や根拠を示して、説得力のある意見文を書く。 △話し言葉と書き言葉との違いに気付き。 △思考に関わる語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。 また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。 △文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、語や文章の構成や展開、語や文章の種類とその特徴について理解する。 △原因と結果など情報と情報との関係について理解し、語彙を豊かにすること。 △情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。	◎【知技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(【知識及び技能】(1)カ) ◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ) ◎【思判表】「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bエ) ◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(【思考力、判断力、表現力等】Bオ) ◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(【思考力、判断力、表現力等】Bカ) 【態度】積極的に情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、学習課題に沿って理由や根拠を示して、説得力のある意見文を書くようとしている。
11	1 漢字の広場 ④ 音を表す部分	△形声文字について、音と意味、成り立ちも含めて理解する。 △第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。 △思考に関わる語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。 また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 △語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や時代による言葉の違いに気付き、共通語と方言の違いを理解すること。 また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解する。	◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や時代による言葉の違いに気付き、共通語と方言の違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。(【知識及び技能】(3)ウ) 【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって形声文字について、音と意味、成り立ちも含めて理解しようとしている。
1	1 (書く1) 漢字の広場 ④ 5年生で学んだ漢字 ④	△絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。 △文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。 △第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(【知識及び技能】(1)エ) 【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書くようとしている。
11 ～ 12	8 (書く2) 三 登場人物の変化を読み、自分の考えをまとめよう きつねの窓	◇登場人物の心情の変化を考えながら読み、想像したことを書く。 △文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。 △思考に関わる語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。 また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。 △日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与している。 ◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。 ◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考える。 ◇資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。 ◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。	◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(【知識及び技能】(1)オ) 【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ) ◎【思判表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(【思考力、判断力、表現力等】Cエ) ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(【思考力、判断力、表現力等】Cオ) 【態度】進んで登場人物の心情の変化を考え、学習の見通しをもって想像したことを書くようとしている。
12	6 (話す聞く2・書く2) 書評を書いて話し合おう	△これまで読んだ本の中から好きな本について書評を書き、紹介し合う。 △話し言葉と書き言葉との違いに気付き。 △文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。 △思考に関わる語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。 また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。 △文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、語や文章の構成や展開、語や文章の種類とその特徴について理解する。 △日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与している。 ◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。 ◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考える。 ◇資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。 ◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。	◎【知技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与している。(【知識及び技能】(3)オ) ◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。(【思考力、判断力、表現力等】Aイ) ◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Aウ) 【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ) ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(【思考力、判断力、表現力等】Cオ) 【態度】進んで書き表し方に着目して文を整え、これまでに読んだ本の中から好きな本について書評を書き、紹介し合うようとしている。
12	2 敬意を表す言い方	△話し相手や場面に応じて、敬意を表す言い方を適切に使い分ける。 △日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。 ⇒【知技】(1)キ	◎【知技】日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れている。(【知識及び技能】(1)キ) 【態度】積極的に語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って敬意を表す言い方を適切に使い分けようとしている。
1	2 (話す聞く1・書く1) 言葉と私たち	言葉に対する自分の考えを書き、言葉への関心を持つ。 △話し言葉と書き言葉との違いに気付き。 ⇒【知技】(1)イ △文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。 ◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。 ◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考える。	◎【知技】話し言葉と書き言葉との違いに気付き。(【知識及び技能】(1)イ) 【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。(【思考力、判断力、表現力等】Aイ) 【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(【思考力、判断力、表現力等】Bア) ◎【思判表】「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。(【思考力、判断力、表現力等】Cウ) 【態度】粘り強く論の進め方について考え、学習の見通しをもって言葉に対する自分の考えを書くようとしている。
1	1 漢字の広場 ⑤ 同じ訓をもつ漢字	△異字同訓について理解を深め、関心をもつとともに正しく使い分ける。 △第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。 △思考に関わる語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。 また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。 △語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や時代による言葉の違いに気付き、共通語と方言の違いを理解すること。 また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解する。	◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。(【知識及び技能】(1)オ) 【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって異字同訓について理解を深め、関心をもつとともに正しく使い分けようとしている。

1 (書く1)	漢字の広場 ⑤ 五年生で学んだ漢字⑤	△絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。 △文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。 △第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読む。また、当該学年前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。	◎【 知技 】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。〔知識及び技能(1)エ〕 ◎【 思判表 】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。〔(思考力、判断力、表現力等)Bウ〕 【 態度 】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書くこととしている。
1 ～ 2	四 伝記を読んで、人物の生き方について自分の考えをまとめよう 伊能忠敬	□伊能忠敬の生き方を考えたあと、興味のある人物の伝記を読んで、その人物を紹介する。 △文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。 △思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。 △文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の仕方に注意して読む。	【 知技 】文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。〔(知識及び技能)1カ)〕 【 思判表 】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。〔(思考力、判断力、表現力等)Bウ〕 ◎【 思判表 】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。〔(思考力、判断力、表現力等)Cエ)〕 ◎【 思判表 】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていく。〔(思考力、判断力、表現力等)Cオ)〕 ◎【 思判表 】「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。〔(思考力、判断力、表現力等)Cカ)〕 【 態度 】積極的に原因と結果など情報と情報との関係について理解し、学習課題に沿って伊能忠敬の生き方を考えたあと、興味のある人物の伝記を読んで、その人物を紹介しようとしている。
2	2 日本語の文字	△日本語の文字の由来や特徴に関心をもち、適切に使い分けができる。 △語句の由来などに関心をもち、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言の違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解する。 △文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いにも注意して書く。 ◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。 ◇意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする。	◎【 知技 】語句の由来などに関心をもち、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言の違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。〔(知識及び技能)3ウ)〕 【 思判表 】「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。〔(思考力、判断力、表現力等)Aア)〕 【 態度 】積極的に日本語の文字の由来や特徴を理解し、今までの学習を生かして適切に使い分けようとしている。
2	1 漢字の広場 ⑥		◎【 知技 】思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。〔(知識及び技能)1オ)〕 【 態度 】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見直しをもって同形異語や熟字訓、同字異訓についての理解を深め、言葉の使い方に関心をもちようとしている。
2 ～ 3	五 出会った言葉を振り返ろう (話す聞く・書く4) ひろがる言葉	◇ <input type="checkbox"/> 卒業を前に六年間の言葉の学びを振り返り成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望を持つ。 △話し言葉と書き言葉との違いに気付く。 △文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。 △思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。 △文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。 ◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。 ◇資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。 ◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。 ◇互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめる。	◎【 知技 】話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。〔(知識及び技能)1イ)〕 ◎【 思判表 】「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。〔(思考力、判断力、表現力等)Aア)〕 ◇「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめている。〔(思考力、判断力、表現力等)Aオ)〕 ◎【 思判表 】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。〔(思考力、判断力、表現力等)Bウ)〕 ◎【 思判表 】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けていく。〔(思考力、判断力、表現力等)Bカ)〕 【 態度 】積極的に卒業を前に六年間の言葉の学びを振り返り、成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望を持つようとしている。